

Athle32

マット陸上競技大会運営システム

(Windows版)

操作マニュアル

2006年3月

改訂第6版

マット株式会社

コンピュータの起動と終了

コンピュータの起動

1. コンピュータの状態を確認します。
電源ケーブルがつながっているか。
ネットワーク・ケーブルがつながっているか。
2. コンピュータの電源を入れます。電源スイッチをオンにするとハードディスクの回転音が聞こえ、しばらくするとWindowsが起動します。
3. Windowsが完全に起動すると画面上部に以下のようなメニューバーが表示されます。



- ...サブメニュー表示ボタン - サブメニューを表示します。
- ...マシンID表示
- ...EXITボタン - メインメニューを終了し、コンピュータを終了します。

コンピュータの終了

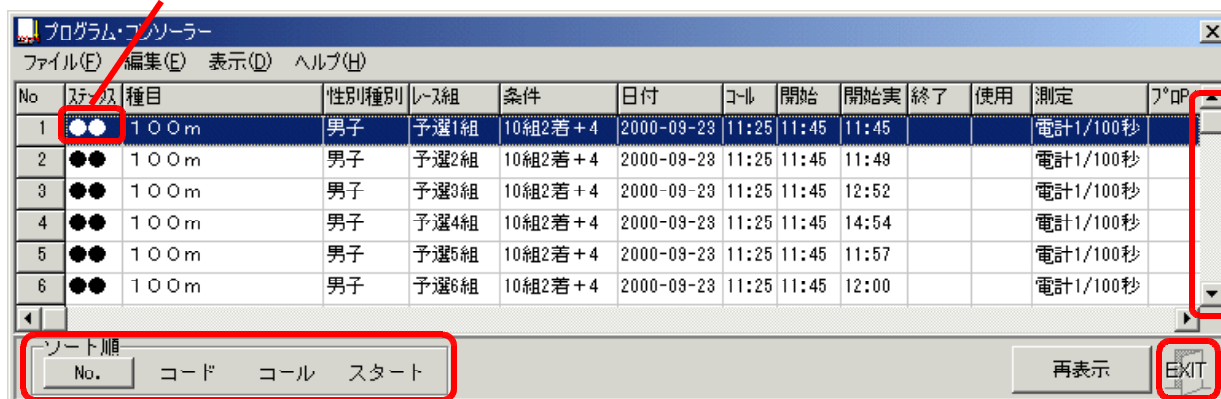
1. サブメニューが表示されている場合は、画面右下にある《サブメニューを閉じる(E S C)》ボタンをマウスでクリックします。
2. サブメニューが閉じ画面上部のメニューバーのみになったら右端にある《EXIT》ボタンをクリックします。するとWindowsが自動的に終了し、コンピュータの電源を切れる状態になりますので、電源を切ってください。



進行中の競技を参照する(モニター編)

現在進行中の競技の進行状況や、既に終了している競技の結果を参照します。

1. マウスを使い《インフォメーション》をクリックします。 【F 6】インフォメーション
2. インフォメーションメニューの《1 - コンソラー(競技参照)》をクリックします。 【1】 + 【Enter】
すると以下のようなプログラム・コンソラー画面が表示されます。



このプログラムでサーチできることは現在どのレースがどのマシンで処理されているか、どの競技がどれだけ進行しているかがわかります。

また、プリンタが接続されていれば、コールが完了している競技のスタートリストや、終了している競技の記録表、結果表が印刷できます。

ステータス表示 - そのレースの進行状況がわかります。

《記号の意味》

- 「 」 なにもしていない
- 「 」 ロールコール(招集処理)完了
- 「 」 記録入力完了
- 「 」 招集処理未完了のまま記録を入力した
- 「 」 記録入力中または未完了の状態

ソート順の変更 - レースの並び順を変更できます。

- 「 」 レースナンバー順に並びます
- 「コード」 種目コード順に並びます
- 「コール」 コール時刻順に並びます
- 「スタート」 開始時刻順に並びます

スクロールバー - 画面を上下にスクロールします。

EXITボタン - プログラム・コンソラー画面を終了しサブメニュー画面に戻ります。

プログラム・コンソラーからの印刷

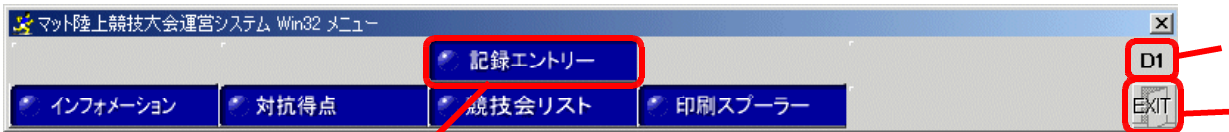
- ・印刷したい競技を選択し、右クリックして《各種印刷》を選択します。 【F 9】各種印刷
- ・印刷選択ダイアログが表示されますので、印刷したいリストを選択し《印刷》ボタンをクリックします。

3. のスクロールバーを使い、参照したいレースを探し、マウスで選択します。 【 】移動
4. そこで右クリックし《詳細表示》をクリックするとレース参照画面が表示されます。 【Alt + Enter】詳細表示
5. 競技の参照を終了するときや別のレースを見るときは、画面右下の《EXIT》ボタンをクリックして、プログラム・コンソラー画面に戻ります。 【Ctrl + F12】終了



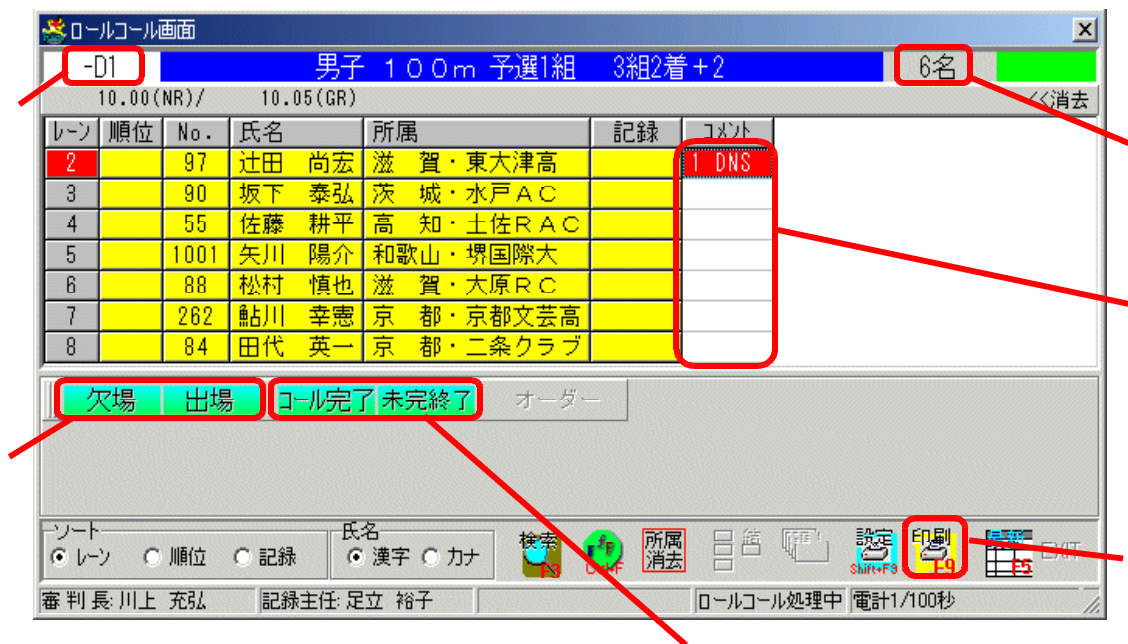
ロールコール編(競技者係)

1. システムを起動させ、以下のようなメニューを表示させます。



...記録エントリーメニュー表示ボタン
 ...マシンID表示
 ...EXITボタン - メインメニューを終了し、コンピュータを終了します。

2. の《記録エントリー》ボタンをクリックします。 【F 3】記録エントリー
 3. メニューバーの下に記録エントリーサブメニューが表示されたら《1. コンソラー(ロールコールエントリー)》をクリックします。 【1】+【Enter】コンソラー
 4. 数秒で「プログラム・コンソラー〔入力モード付〕」が表示されますので、コールしたいレースを右クリックし、《詳細表示》をクリックします。 【 】移動
 5. 「レース参照画面」が表示されたら、【Ctrl + F 1】を押すとパスワードダイアログが表示されますのでパスワードを入力してください。 【Alt + Enter】詳細表示
- パスワードが正しく入力されれば、以下のようなロールコール画面が表示されます。 【Ctrl + F 1】ロールコール



画面はトラック競技の場合

マシンID
 「欠場」「出場」ボタン
 「コール完了」「未完終了」ボタン - コールをそれぞれの処理で終了します
 出場者数表示 - 欠場者を除いた出場者数
 入力ライン - 欠場の処理をすると「DNS」が表示されます
 印刷ボタン - スタートリストを印刷します

6. ロールコールの処理をします。
 - ・ の位置を「空欄=出場」にしたり「DNS=欠場」にしたりします。
 欠場にしたい選手の の位置をクリックして選択し、 の《欠場》をクリックし 【 】移動
 ます。するとコメント欄に「DNS」が表示され、また の人数が1名減ります。 【スペース】欠場
 - ・ 《出場》をクリックすると「DNS」表示が消えて欠場が取り消され、出場になり 再度【スペース】で出場
 ます。また、 の人数が1名増加します。
 - ・ 今処理を行っているコンピュータにプリンタがつながっていれば、 をクリック 【F 9】スタートリスト印刷
 することで現在処理しているレースのスタートリストが印刷できます。



7. リレーのオーダーを入力します。

- ・オーダーを入力したいチームの記録欄()をクリックして選択し、未完終了ボタンの右側にある《オーダー》ボタンをクリックします。すると以下のような画面が表示されます。

【F2】オーダー入力



- ・ をクリックし各走者を選択します。全てが選択できたらオーダー用紙と再度確認後の《登録終了》ボタンをクリックするとロールコール画面に戻ります。この処理をチーム数回繰り返せばオーダー登録が完了します。
- ・オーダー入力を辞めるときは、《キャンセル》ボタンをクリックします。
- ・一度入力した選手を取り消す場合は、 から《割当解除》を選択します。

【 Tab 】選手選択
【 Tab 】次走者へ移動
【 F2 】登録終了
【 ESC 】登録キャンセル

8. ロールコール処理を終了します。

- ・ロールコール処理を終了しコール完了にします。
の《コール完了》をクリックします。
「コール完了にします。スタートリストをスプールしますか?」というメッセージが表示されますので、当然スタートリストを印刷しなければならないので《はい》をクリックします。
- ・ロールコールを完了してはいけない時は、《未完終了》をクリックします。すると、「ロールコールを未完で終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、《OK》をクリックします。
これでレース参照画面に戻りますので画面右下の《EXIT》ボタンをクリックしプログラム・コンソラー画面に戻り次のレースを処理します。

【 Alt + Enter 】
コール完了
【 Enter 】 or 【 Y 】
【 ESC 】未完終了
【 Ctrl + F12 】終了

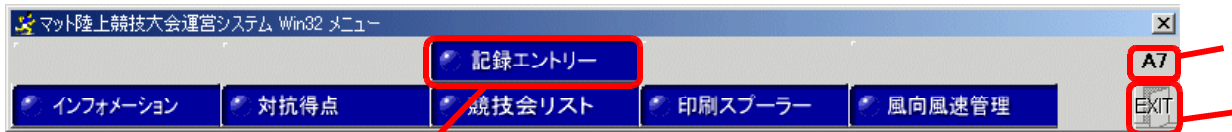
9. ロールコールでの注意事項

- ・出場する選手を確認する事がおもな作業となります。
また、選手から所属が違っていたり、氏名が違っていたりといった指摘を受けるところでもあります。しかし、ロールコールではそれらの修正はできません。ですから、記録センターへ連絡を入れて対応してください。
- ・ロールコールが完了したら、すぐに記録を入力するマシンが次の処理に入りますので速やかに印刷スプラーに出力してプログラム・コンソラー画面まで戻ってスタンバイしてください。



記録の入力(トラック編)

1. システムを起動させ、以下のようなメニューを表示させます。



...記録エントリーメニュー表示ボタン
 ...マシンID表示
 ...EXITボタン - メインメニューを終了し、コンピュータを終了します。

2. の《記録エントリー》ボタンをクリックします。 【F 3】記録エントリー
3. メニューバーの下に記録エントリーサブメニューが表示されたら《1. コンソラー (レコーダ・エントリー)》をクリックします。 【1】 + 【Enter】
4. 数秒で「プログラム・コンソラー〔入力モード付〕」が表示されますので、記録を入力するレースを右クリックし、《詳細表示》を選択します。 【 】移動
5. 「レース参照画面」が表示されたら、【Ctrl + F 4】を押します。 【Alt + Enter】詳細表示
6. パスワードダイアログが表示されますのでパスワードを入力してください。パスワードが正しく入力されれば、「レース開始時刻の入力」ボックスが表示されますので、レース開始時刻を入力して《OK》をクリックします。すると、以下のような記録入力画面が表示されます。



写真は短距離種目の場合

歴代記録表示
 「欠/出」、「順位付け」、「風入力」ボタン
 「順位修正」、「途中時間」ボタン
 出場者数表示 - 欠場者を除いた出場者数
 風力表示位置
 入力ライン - 記録・コメントをここに入力します。
 「コメント」、「入力終了」、「自動入力」ボタン

7. 記録を入力します。

- 1) 写真判定員が読み上げたレーンナンバー又はナンバーカードの選手の の位置へカーソルを移動します。このとき、セパレートコースのようなレーンの少ないレースでは画面に全員が表示されていますが、出場人数の多い場合は画面に見えない選手がいます。この場合、画面中央下の《検索》ボタンをクリックしナンバーを入力するとそのナンバーが存在する行にカーソルが移動します。 【 】移動 【F 3】検索



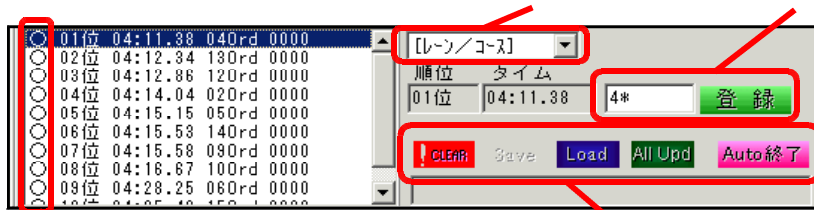
- 2) 【Enter】を押すと、記録入力ボックスが表示され、記録が入力できます。
 記録は : : (時:分:秒.1/10、1/100、着差)を入力。
 通常1/1000秒は入力しません。空白にしておきます。
 記録を入力したら【Enter】を押します。すると、記録が登録され選手を選ボモードに戻ります。
- ・同タイム着差ありの処理
 後着の人の着差欄に1以上の数字を入力します。
 - ・棄権、失格の場合の処理
 0:00:00.00 すべてゼロを入力します。すると、コメントの欄に「DNF」の文字が表示され棄権になります。
 失格はその後、《コメント》をクリックしコメントで「DSQ」を指定します。
 - ・記録を入力したくないのに誤ってEnterを押した場合は【ESC】で回避します。
- 以上を出場人数回繰り返せば、記録は全て入力されたことになります。

【F5】コメント設定

8. 記録を写真判定装置から取り込みます(自動入力モード)

- 1) の《自動入力》ボタンをクリックします。すると、以下のような記録受信ボックスが表示されます。

【Ctrl+A】自動入力



- ×表示
受信モード選択ボタン - 記録が割り当てられていれば が表示されます。
写真判定装置から出力されたデータによって、(競技者)が[レーン/コース]かを選択します。
ニススポーツ社製MF/300では必ず指定。
- 「Save」、「Load」ボタン - 受信したデータを保存したり復元したりします。
- 「AllUpd」ボタン - 「Load」で復元したデータをすべて割り当てます。
- 「Auto終了」ボタン - 自動入力を終了します。

- レーン、ナンバー入力ボックスと「登録」ボタン
- 2) 写真判定員が写真判定装置で記録と順位を判定し、レーンないしは競技者 を入力すると、コンピュータに自動的に記録が入力され、その指定された競技者に割り当てられます。
 レーン/競技者Noをコンピュータ側で入力する旧型の写真判定装置があります。
- 3) すべて判定が終了したら、 の《Auto終了》ボタンを押して自動入力を終了します。
- 4) 入力された記録を復唱して記録が正しいかどうか確認します。

【Ctrl+A】自動入力終了

9. 風力が必要な種目は、 の《風入力》風力を入力します。

【F8】風入力

10. の《順位付け》ボタンをクリックし、順位付けを実行します。すると、記録順に並び変わり、順位がつきます。

【F7】順位付け

11. コメントを付け入力された記録を編集します。

- 1) コメントを入力したい選手の「コメント」の欄をクリックし選択します。
- 2) の《コメント》ボタンをクリックすると、以下のような「コメント登録バー」が表示されます。

【F5】コメント設定



登録ボタン

- 3) をクリックしコメントを選択して、《登録》ボタンをクリックするとコメントが登録されます。登録ボタンが見えないときは【Alt+Enter】キーで登録します。

【Alt+Enter】終了

12. すべての入力が完了したら の《入力終了》ボタンをクリックします。

【Alt+Enter】終了

- ・終了属性を選択します。「完了」...通常終了 「未完了」...一時(仮)終了
 - ・印刷指示を選択します。「印刷する」...通常 「印刷しない」...未完了時
- 以上の項目を選択して、《OK》をクリックすると記録入力画面からレース参照画面へ戻ります。

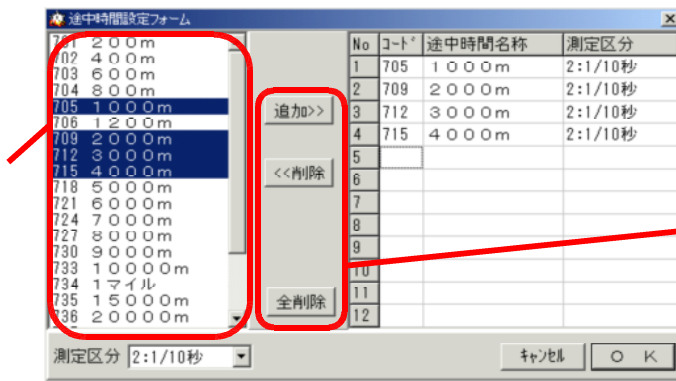
【Enter】決定



ラップタイムの設定・入力

設定

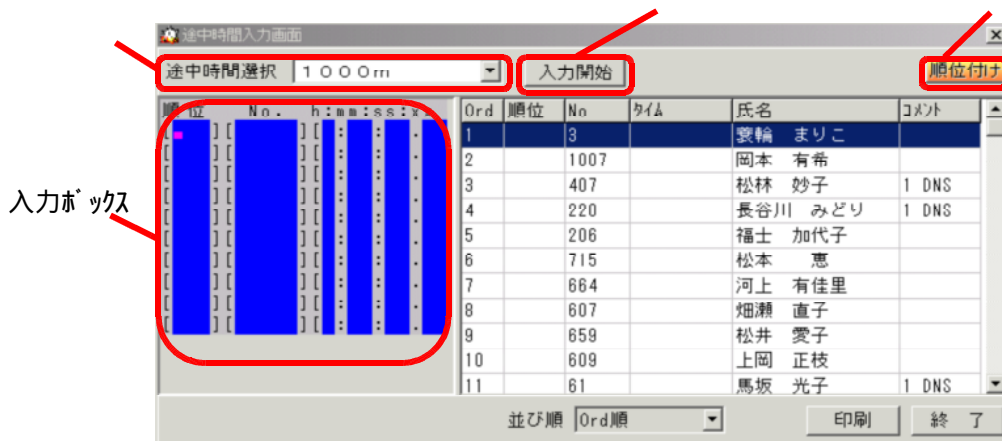
- メインメニューから《記録エントリー》ボタンをクリックし、その後《1. コンソラー (0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0)》をクリックしプログラムコンソラーを起動します。【F 3】記録エントリー【1】 + 【Enter】
- これからラップタイムを入力しようとしているレースを右クリックし、《詳細表示》を選択して「レース参照画面」を表示させます。この状態で、【Ctrl + F 4】を選択し、パスワードとレース開始時刻を入力して《OK》をクリックして記録入力画面を表示させます。【Alt + Enter】参照【Ctrl + F 4】記録入力
- の《途中時間》ボタンをクリックします。すると、以下のような「途中時間設定フォーム」が表示されます。【Ctrl + L】途中時間設定



- 測定区分を1/1秒・1/10秒・1/100秒から選択します。
- 途中時間を入力したい距離をのボックスからすべて選択し、の《追加》ボタンを押して右側にセットします。距離設定を間違えてしまった場合は、右側で間違えてセットした距離を選択し、の《削除》ボタンを押すと設定を取り消すことができます。すべての設定距離を取り消したい場合は、の《全削除》ボタンをクリックします。
- 設定が終われば、画面右下の《OK》ボタンをクリックします。記録入力画面に戻ると設定した距離の記録入力欄が表示されます。

入力

- 記録入力画面が表示されている場合は《入力終了》 - 《未完了》で一度終了します。【Alt + Enter】入力終了
- レース参照画面から【Ctrl + F 6】を押し、パスワードを入力して以下のような「途中時間入力画面」を表示させます。【Ctrl + F 6】途中時間入力



- の途中時間選択ボックスからこれから途中時間を入力しようとしている距離を選択し、の《入力開始》ボタンを押します。すると、画面左側に入力ボックスが表示されるので、そこに記録を入力していきます。
- 以下のように数値を入力します。

順位 No. h:mm:ss:xx 左図例) 1位 ナバ-カード 537の選手
 [1] [537] [0:03:02.7] 3分02秒7のタイムで通過した。

入力後、画面の右側に反映させるために【Alt + Enter】【実行】を押すと、右側に【Alt + Enter】反映に記録が入力されます。

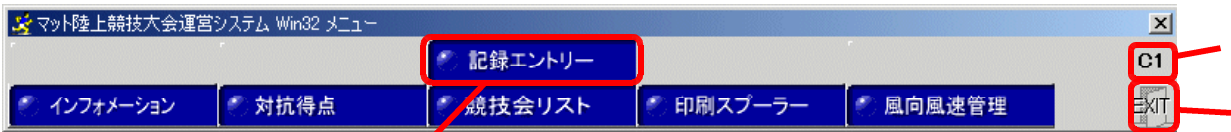


- 5) 順位付けをします。 の《順位付け》ボタンをクリックすると、順位付けを実行するかどうかを聞いてきますので《OK》を押します。 【F7】順位付け
- 6) 別の途中時間を入力したいときは、 の途中時間選択ボックスからその距離を選択し、3)～5)の処理を行います。
- 7) 全ての処理が終了したら、画面右下にある《終了》ボタンをクリックすると、「レース参照画面」に戻ります。 【ESC】終了
終了する前に入力した情報を印刷したいときは、終了ボタンの左にある《印刷》ボタンで印刷することができます。



記録の入力 (フィールド - 走高跳・棒高跳編)

1. システムを起動させ、以下のようなメニューを表示させます。



...記録エントリーメニュー表示ボタン
 ...マシンID表示
 ...EXITボタン - メインメニューを終了し、コンピュータを終了します。

2. の《記録エントリー》ボタンをクリックします。 [F 3] 記録エントリー
3. メニューバーの下に記録エントリーサブメニューが表示されたら、《1. コンソラー (Control-Enter)》をクリックします。 [1] + [Enter] コンソラー
4. 数秒で「プログラム・コンソラー〔入力モード付〕」が表示されますので、記録を入力するレースを右クリックし、《詳細表示》を選択します。 [] 移動 [Alt + Enter] 詳細表示
5. 「レース参照画面」が表示され【Ctrl + F 4】を押すとパスワードダイアログが表示されますのでパスワードを入力してください。
6. パスワードが正しく入力されれば、「レース開始時刻の入力」ボックスが表示されますので、レース開始時刻を入力して《OK》をクリックします。すると、以下のような記録入力画面が表示されます。



歴代記録表示
 「欠/出」, 「順位付け」ボタン
 フィールド表示板コントロールメニュー(フィールド表示盤と連動する場合使用)
 所属消去・表示切換ボタン
 出場者数表示 - 欠場者を除いた出場者数
 「高さ入力」, 「試技選択」, 「コメント」, 「入力終了」ボタン

7. バーの高さを入力します。

- 1) の《高さ入力》ボタンをクリックします。右のようなボックスが表示されます。
- 2) 「No 1」の欄から順に高さを数字キーで入力します。例. 4 m 0 0 4 0 0
 【Enter】 【 】 次のバーの高さに移る
 【実行】 【Alt + Enter】 入力終了

No	高さ	No	高さ	No	高さ	No	高さ
1	[400]	11	[]	21	[]	31	[]
2	[]	12	[]	22	[]	32	[]
3	[]	13	[]	23	[]	33	[]
4	[]	14	[]	24	[]	34	[]
5	[]	15	[]	25	[]	35	[]
6	[]	16	[]	26	[]	36	[]
7	[]	17	[]	27	[]	37	[]
8	[]	18	[]	28	[]	38	[]
9	[]	19	[]	29	[]	39	[]
10	[]	20	[]	30	[]	40	[]

【F 2】高さ入力



8. 試技の結果を入力します。

- 1) の《**試技選択**》をクリックし、これから入力する高さを選択して《**OK**》をクリックします。
入力中は、の《**所属消去**》ボタンをクリックして所属の表示を消しておくと、入力しやすくなります。
- 2) これから試技を行う選手の高さの欄に上下左右のカーソルキー【 】で移動(またはマウスでクリック)します。
- 3) 【Enter】を押すと試技入力ボックスが表示されます。
誤って【Enter】を押してしまって元に戻りたい場合は、【ESC】を押します。
- 4) 試技結果を以下の記号を使って入力します。
【+】 ... 有効(いわゆる) 【-】 ... パス
【*】 ... 無効(いわゆる×) 【/】 ... 途中棄権
1回目の入力を終了するときは【Alt+Enter】【実行】を押すと登録され、もとの入力位置選択に戻ります。同時に、その試技が有効試技であれば「記録」の欄に記録が表示されます。
今入力した値をキャンセルして元に戻りたいときは【ESC】を押します。
3回連続して無効試技をだすか、途中棄権をだした時点でそれ以降は跳べなくなり、その選手のそれ以降の高さが入力できなくなります。
- 5) 全員が一つの高さのバーの試技を終了したら、7-1)の処理に戻ります。
これを試技回数分だけ繰り返し、全選手に×が3個並ぶか/が付くと全試技終了となります。
- 6) 全ての試技が入力できたら、の《**順位付け**》ボタンをクリックします。
「記録をもとに順位を付けます。順位が書き換わります。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、《**はい**》をクリックすると順位の欄に順位がつき、記録順に並び変わります。

【F4】試技選択
【 】高さ選択
【Enter】OK

【F7】順位付け
【Enter】

7) 決勝試技について

- 1位が2名以上いる場合、決勝試技の入力をします。
・《**決勝試技**》ボタンをクリックします。
・「決勝試技を開始しますか?」というメッセージが表示されますので《**OK**》をクリックします。
・決勝試技ボタンの横に新に表示された《**高さ入力**》ボタンをクリックします。
・バーの高さを入力します。
通常、同記録の選手が全員試技に失敗した最も低い高さでもう1回試技をします。それでも順位が決まらなかった場合は、走高跳は2cm、棒高跳は5cmそれぞれバーを上げ下げして試技を行い、1位が決定するまで繰り返します。ただし、各バーの高さは各人1回しか跳べません。
・記録の入力は1)~5)と同じです。ただし、決勝試技の入力位置は水色で表示されます。
・1位が決まったら、《**入力終了**》ボタンをクリックし、決勝試技の入力を完了します。すると、自動的に記録順に並べ変わり順位がつきます。

9. コメントを付け入力された記録を編集します。

- 1) コメントを入力したい選手の「コメント」の欄をクリックまたは【 】で選択します。
- 2) の《**コメント**》ボタンをクリックすると、以下のような「コメント登録バー」が表示されます。

【F5】コメントの設定



登録ボタン

- 3) をクリックしコメントを選択して、《**登録**》ボタンをクリックするとコメントが登録されます。

【 】選択
【Alt+Enter】登録

10. 入力を完了したら の《**入力終了**》ボタンをクリックします。

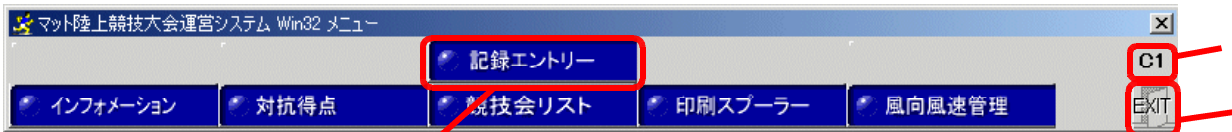
- ・終了属性を選択します。「完了」...通常終了 「未完了」...一時(仮)終了
 - ・レースの終了時刻を入力します。
 - ・印刷指示を選択します。「印刷する」...通常 「印刷しない」...未完了時
- 以上の項目を入力または選択して、《**OK**》をクリックすると記録入力画面からレース参照画面へ戻ります。

【Alt+Enter】終了
【 】選択
【Enter】決定



記録の入力(フィールド - 6回試技編)

1. システムを起動させ、以下のようなメニューを表示させます。



...記録エントリーメニュー表示ボタン

...マシンID表示

...EXITボタン - メインメニューを終了し、コンピュータを終了します。

2. の《記録エントリー》ボタンをクリックします。
3. メニューバーの下に記録エントリーサブメニューが表示されたら、《1. コンソラー(コンソール・エントリー)》をクリックします。
4. 数秒で「プログラム・コンソラー〔入力モード付〕」が表示されますので、記録を入力するレースを右クリックし、《詳細表示》を選択します。
5. 「レース参照画面」が表示され【Ctrl + F 4】を押すとパスワードダイアログが表示されますのでパスワードを入力してください。
6. パスワードが正しく入力されれば、「レース開始時刻の入力」ボックスが表示されますので、レース開始時刻を入力して《OK》をクリックします。すると、以下のような記録入力画面が表示されます。

【F 3】記録エントリー

【1】 + 【Enter】

コンソラー

【 】移動

【Alt + Enter】詳細表示



写真は走幅跳の場合

歴代記録表示

「欠/出」、「順位付け」ボタン

フィールド表示板コントロールメニュー

所属消去・表示切替ボタン

出場者数表示 - 欠場者を除いた出場者数

「試技選択」、「コメント」、「入力終了」、「自動入力」ボタン

7. 試技の結果を入力します。

- 1) の《試技選択》をクリックし、何回目の試技かを選択して《OK》をクリックします。【F 4】試技選択
 入力中は、の《所属消去》ボタンをクリックして所属の表示を消しておく、【Enter】OK
 入力しやすくなります。
- 2) これから試技を行う選手の1回目の欄をマウスでクリックします。【 】移動
 画面上の選手リストは試技順に並んでいますので、上から順に移動していけばOKです。



ナンバーにより任意の選手へ移動する場合は、画面中央下の《検索》ボタンをクリックしナンバーを入力すると、そのナンバーの選手の行にジャンプします。

【F 3】検索

3) 【Enter】を押すと試技入力ボックスが表示されます。

誤って【Enter】を押してしまって元に戻りたい場合は、【ESC】を押します。

4) 試技結果を以下の規則に基づき入力します。

- 【数値】 ... 数字キーで記録を入力
- 【*】 ... 無効試技(いわゆる×)
- 【-】 ... パス
- 【/】 ... 途中棄権
- 【Enter】 ... カーソルが右へ移動

・跳躍の場合



例) 7 m W .
* m 2 3 W - 0 . 5
m W .

・投てきの場合



例) 4 5 m
- m 6 8
m

5) 【Alt + Enter】【実行】で試技の結果が登録され、選手を選ぶモードに戻ります。

6) 以上の2) ~ 5) を人数回繰り返せば一つの試技が終了し、1) で次の試技を設定して記録を入力していきます。ただし、3回目まで終了時点でカーソルを3回目の欄にあわせ、一度の《順位付け》ボタンをクリックし、3回目までの順位付けを行ってから4回目以降を入力します。

【F 7】順位付け

【F 7】順位付け

7) 全ての試技が入力できたら、必ず4 ~ 6回目の欄のどこかで《順位付け》ボタンをクリックします。「記録をもとに順位を付けます。順位が書き変わります。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、《はい》をクリックすると順位の欄に順位がつき、記録順に並べ変わります。

8. コメントを付け入力された記録を編集します。

1) コメントを入力したい選手の「コメント」の欄をクリックまたは【 】で選択

【F 5】コメントの登録

2) の《コメント》ボタンをクリックします。すると、以下のような「コメント登録バー」が表示されます。



登録ボタン

3) をクリックしコメントを選択して、《登録》ボタンをクリックするとコメント

【 】選択

【Alt + Enter】設定

9. すべての入力を完了したら《入力終了》ボタンをクリックします。

【Alt + Enter】終了

・終了属性を選択します。「完了」...通常終了 「未完了」...一時(仮)終了

【 】選択

・レースの終了時刻を入力します。

【Enter】決定

・印刷指示を選択します。「印刷する」...通常 「印刷しない」...未完了時

以上の項目を入力または選択して、《OK》をクリックすると記録入力画面からレース参照画面へ戻ります。

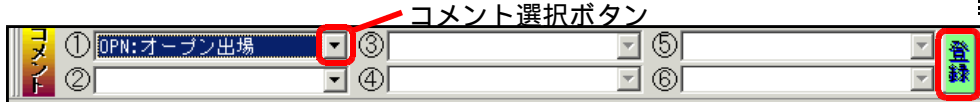


オープン出場者の処理

この処理は、オープン出場者が正選手と同一組で競技した場合、この処理をすることで順位から除外し、次ラウンドの番組編成からも除外することができます。

1. 記録エントリーで記録を入力します。
(入力方法についてはそれぞれの入力方法のページを参照して下さい。)
2. オープン出場の選手にコメントを付けます。
 - 1) オープン出場の選手の「コメント」の欄をクリックまたは【】で選択します。
 - 2) 画面中央の《コメント》ボタンをクリックします。

【F5】コメントの登録



登録ボタン

- 3) コメント選択ボタンをクリックし、《OPN:オープン出場》を選択して、《登録ボタン》をクリックするとコメントが登録されます。
3. 《順位付け》をクリックして順位付けし、《入力終了》で処理を終了します。

【】選択
【Alt+Enter】登録
【F7】順位付け



オープン処理を行うと、その選手は最下行に移動し、順位対象から外れます。オープン出場の取り扱いは、大会の性質や申し合わせ事項などにより異なります。どのラウンドで適用するかは、それぞれの大会に応じて使用して下さい。また、第1ラウンドで適用した場合は、第2ラウンド以降の番組編成に自動進出できません。競技会リスト (COMP LIST) から除外されます。



記録コントロール編

記録コントロールマシンの役割

システムを起動させると、以下のようなメニューが表示されます。



...マシンID表示

...EXITボタン - メインメニューを終了し、コンピュータを終了します。

役割と起動

- | | |
|---|---|
| <p>1. 記録入力の監視をする。
《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《1. コンソラー》を起動します。</p> <p>2. 混成競技の得点集計を行う。
《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《1. コンソラー》を起動します。</p> <p>3. 番組編成を行う。
《番組編成》ボタンをクリックし、さらに《1. 番組編成》を起動します。</p> <p>4. マスターの修正を行う。《マスター・メンテナンス》ボタンをクリックします。
 () 出場選手マスターの修正 《1. 競技者マスター》を起動します。
 () 所属団体マスターの修正 《2. 所属団体マスター》を起動します。
 () 固定情報マスターの修正 《3. 固定情報マスター》を起動します。
 () 種目マスターの修正 《4. 種目マスター》を起動します。
 () 競技マスターの修正 《5. 競技マスター》を起動します。</p> <p>5. 気象情報を入力する。
《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《2. コンディションマスター》を起動します。</p> <p>6. タイムレースの決勝を作成する。
《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《1. コンソラー》を起動します。</p> <p>7. 印刷スプーラーの設定。
《印刷スプーラー》ボタンをクリックします。</p> <p>8. 競技会リストの印刷。
《競技会リスト》ボタンをクリックし、さらに《1. 競技会リスト》を起動します。</p> <p>9. 対抗得点集計システム
対抗得点設定
《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《9. 対抗得点設定》を起動します。
対抗得点集計
《対抗得点》ボタンをクリックし、さらに《1. 対抗得点》を起動します。</p> | <p>【 F 3 】 記録エントリー
【 1 】 + 【 Enter 】
コンソラー</p> <p>【 F 3 】 記録エントリー
【 1 】 + 【 Enter 】
コンソラー</p> <p>【 F 2 】 番組編成
【 1 】 + 【 Enter 】
番組編成</p> <p>【 F 1 】 マスター・メンテナンス
【 1 】 }
【 2 】 } + 【 Enter 】
【 3 】 }
【 4 】 }
【 5 】 }</p> <p>【 F 3 】 記録エントリー
【 2 】 + 【 Enter 】
コンディションマスター</p> <p>【 F 3 】 記録エントリー
【 1 】 + 【 Enter 】
コンソラー</p> <p>【 F 9 】 印刷スプーラー</p> <p>【 F 8 】 競技会リスト
【 1 】 + 【 Enter 】
競技会リスト</p> <p>【 F 1 】 マスターメンテナンス
【 9 】 + 【 Enter 】
対抗得点設定</p> <p>【 F 7 】 対抗得点
【 1 】 + 【 Enter 】
対抗得点</p> |
|---|---|



1. 記録入力の監視をする

- (1) メインメニューの《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《1. コンソラー》を起動します。
すると以下のような画面が表示されます。

【F3】記録エントリー
【1】+【Enter】
コンソラー

No	ステータス	種目	性別種別	レース組	条件	日付	コール	開始	開始実	終了	使用	測定
1	●●	100m	男子	予選1組	3組2着+2	2005-04-01	09:40	10:00	10:00			電計1/100秒
2	●○	100m	男子	予選2組	3組2着+2	2005-04-01	09:40	10:00	10:05		●A7	電計1/100秒
3	○	100m	男子	予選3組	3組2着+2	2005-04-01	09:40	10:00				電計1/100秒
4		200m	男子	予選1組	3組2着+2	2005-04-02	09:40	10:00				電計1/100秒
5		200m	男子	予選2組	3組2着+2	2005-04-02	09:40	10:00				電計1/100秒
6		200m	男子	予選3組	3組2着+2	2005-04-02	09:40	10:00				電計1/100秒

ステータス表示 - そのレースの進行状況がわかります。

《記号の意味》

- 「 」 なにもしていない
- 「 」 ロールコール(招集処理)完了
- 「 」 記録入力完了
- 「 」 招集処理未完了のまま記録を入力した
- 「 」 記録入力中または未完了の状態

ソート順の変更 - レースの並び順を変更できます。

- 「 」 レースナンバー順に並びます
- 「コード」 種目コード順に並びます
- 「コール」 コール時刻順に並びます
- 「スタート」 開始時刻順に並びます

レース使用中のマシンID表示 - そのレースをどのマシンが使用しているかがわかります。

- (2) 記録入力を監視したい競技を選択後、右クリックし《詳細表示》をクリックすると数秒後にレース参照画面が表示されます。

【 】移動
【Alt+Enter】詳細表示

レーン	順位	No.	氏名	所属	記録	コメント
4		55	佐藤 耕平	高知・土佐RAC	10.28	
5		1001	矢川 陽介	和歌山・堺国際大	10.37	
2		97	辻田 尚宏	滋賀・東大津高		
3		90	坂下 泰弘	茨城・水戸AC		
6		88	松村 慎也	京都・大原RC		
7		262	鮎川 幸憲	京都・京都文芸高		
8		84	田代 英一	京都・二条クラブ		



1. 記録入力の監視をする

- (3) のソートボタンで《記録》を選択して記録モードで入力の様子を監視します。【F4】記録順
入力端末で記録を入力すると表示が自動的に記録順に並び変わります。今すぐ表示を更新したいときは の更新ボタンを押すとマニュアルで更新できます。【F1】オーダー順
【F6】順位順
入力が完了すると表示が更新されなくなります。【F5】更新
順位がついているか、コメントに間違いがないか、風力が必要な競技にはきちんと風力が入力されているか確認します。
間違いを見つけた場合は、直ちにインカムで連絡し入力したマシンで修正させます。入力マシンが次の競技の準備などで修正できない場合は、記録コントロールで修正します。
- (4) 終了するときや別のレースを見るときは、画面右下の《EXIT》ボタンをクリックすると、プログラム・コンソラー画面に戻ります。【Ctrl+F12】終了
- (5) 全ての処理を終了するとき、プログラム・コンソラー画面の右下の《サブメニューを閉じる(ESC)》ボタンをクリックすると、メインメニュー画面に戻ります。【ESC】サブメニュー終了



2. 混成競技の得点集計を行う

- (1) メインメニューの《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《1. コンソール》を起動します。 【F3】記録エントリー
【1】+【Enter】コンソール
- (2) 得点を集計したい混成競技の総合得点表を選択し右クリックで《詳細表示》をクリックします。 【 】移動
【Alt+Enter】詳細表示
- (3) 「レース参照画面」が表示されたら【Ctrl+F4】を押し、パスワードダイアログが表示されますのでパスワードを入力してください。
- (4) パスワードが正しく入力されれば、「レース開始時刻の入力」ボックスが表示されますので、得点集計をする年月日と時刻を入力して《OK》をクリックします。以下のような画面に選手名と種目毎の記録・得点のリストが表示されます。

オーダー	順位	No.	氏名	記録	コメント	100mH	走高跳	砲丸投	200m
12	1	504	河野 奈津美	4683		(743)15.77	(621) 1m50	(591) 10m93	(776)
11	2	613	福西 かな子	4403		(670)16.37	(855) 1m70	(421) 8m33	(684)
8	3	410	平井 直美	4254		(610)16.88	(512) 1m40	(515) 9m78	(756)
1	4	248	坂口 友紀	4024		(670)16.37	(678) 1m55	(378) 7m67	(892)
6	5	625	城山 沙織	3986		(667)16.39	(621) 1m50	(396) 7m95	(726)
7	6	227	片瀬 京子	3847		(750)15.71	(621) 1m50	(377) 7m66	(635)
5	7	275	井上 美鈴	3469		(501)17.88	(512) 1m40	(598) 11m04	(566)
3	8	56	白井 由理	3445		(408)18.81	(460) 1m35	(382) 7m73	(591)
2	9	825	前田 めぐみ	3440		(497)17.92	(566) 1m45	(388) 7m82	(584)
4		213	谷川 かおり		1 DNS				

ここに掲載されている画面は所属表示を消去してあります。

「欠/出」「順位付け」ボタン

所属消去・表示切換ボタン

「コメント」「入力終了」「自動入力」ボタン

- (5) 総合得点順に順位付けをします。 の《順位付け》ボタンをクリックすると、「記録をもとに順位を付けます。順位が書き変わります。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、《はい》をクリックします。 【F7】順位付け
- (6) コメント(失格、途中棄権、新記録、タイ記録など)を付けます。
・コメントを入力したい選手の「コメント」の欄をクリックまたは【 】で選択します。
・ の《コメント》ボタンをクリックします。すると、以下のような「コメント登録バー」が表示されます。 【F5】コメントの登録

登録ボタン

- ・ をクリックしコメントを選択します。その後、《登録》ボタンをクリックするとコメントが登録されます。 【 】選択
【Alt+Enter】登録
- (7) 入力を完了したら の《入力終了》ボタンをクリックします。 【Alt+Enter】終了
- ・ 終了属性を選択します。「完了」...通常終了 「未完了」...一時(仮)終了 【 】選択
- ・ レースの終了時刻を入力します。 【Enter】決定
- ・ 印刷指示を選択します。「印刷する」...通常 「印刷しない」...未完了時
- * 途中集計の時の処理 「未完了」- 終了時刻 - 「印刷する」
- * 完了終了の時の処理 「完了」- 終了時刻 - 「印刷する」

以上の項目を入力または選択して、《OK》をクリックすると記録入力画面からレース参照画面へと戻ります。



3. 番組編成を行う

予選が終了した種目の準決勝や、決勝の番組編成をします。

- (1) メインメニューの《番組編成》ボタンをクリックし、さらに《1. 番組編成》を起動します。 【F2】番組編成
【1】+【Enter】番組編成
- (2) 番組編成に必要な以下の項目を設定します。 【 】選択
【Enter】決定
【Tab】次項目へ移動
- ・競技選択 - 番組編成したい競技を選択します
 - ・レース選択 - 次のラウンドを選択します
 - ・前レース - 前のラウンドを選択します
(次ラウンドが決勝の時は《*決勝のみ》を選択)
- 設定が完了したら《決定》ボタンを押します。 【Alt+Enter】決定
- すると「...番組を実行します。」というメッセージが表示されるので、よければ《OK》をクリックします。 【Enter】OK
- (3) 次に、前ラウンドからの進出リストが表示されます。これは参照するだけです。 【ESC】閉じる
- このとき、次ラウンド進出者が条件より多くいた場合、以下のような通過者を決定する画面が表示されます。

Sq	No	氏名	所属	レー	前R組・順	前R記録	進出
1	679	渡辺 大介	兵庫・関東大	9	3組3位	1:53.85	1
2	246	山口 尚人	京都・近畿工業大	9	4組3位	1:53.85	1

通過させたい選手の進出チェック欄をクリックし、《1 - 進出》を選択します。誤って進出を選択してしまったときは、進出チェック欄から《0 - 落選》を選択すれば、選択をキャンセルすることができます。条件にあった選手数だけ進出者を選択して《OK》を押すと、次の画面に進みます。

- (4) 右図のような「番組編成基礎情報入力フォーム」が表示されますので、番組編成に必要な情報を入力します。 【Tab】移動
【Alt+Enter】OK
- ・審判長名 審判長名を入力。
 - ・記録主任 記録センター長あるいは記録主任名を入力。
 - ・その他 通常入力しません。
 - ・組数* 何組に分けるか。
 - ・測定区分 通常すでに入力されています。
 - ・条件* 着+ (何着+)の次ラウンドに進出できる着どり数を入力します。タイムレースの場合はチェックをつけます。
 - ・日付、時刻 西暦4桁 - 月2桁 - 日2桁 最終コール完了時刻、競技開始時刻を入力。日付時刻記憶は入力した日時が次の競技の番組編成時まで保持されます。

* 決勝の番組編成の際は表示がありません。
各項目の入力が済んだら《OK》をクリックします。

写真はトラック競技準決勝 【Alt+Enter】OK

- (5) 「総エントリーリストを出力しますか？」
予選ラウンドに出場した選手が記録順に印刷されます。
《OK》または《キャンセル》を押します。 【Enter】決定
【ESC】キャンセル
- (6) 「進出チェックリストを出力しますか？」
次ラウンドに進出する選手が前ラウンドの記録順に印刷されます。
《OK》または《キャンセル》を押します。 【Enter】決定
【ESC】キャンセル



- (7) 「仮組分けリストを出力しますか？」
 仮の組分けリストが出力されます。予選ラウンドでの記録や、順位が表示されるのでマニュアル調整をする際の参考にします。
 《OK》または《キャンセル》を押します。

【Enter】決定
 【ESC】キャンセル

- (8) 自動的に以下のようなマニュアルによる組み分けの画面になります。
 先に印刷した仮組分けの順序を並び替えたり、組をかえ選手を交換することができます。

表示組変更ボタン - 表示組を選択します。
 《R》は番組外の選手が表示されます。

【F5】 / 【R】
 / 【Enter】組変更

各種操作ボタン

- 《マーク》 移動もしくは入れ替えたい選手をマークします。
- 《移動》 マークした選手を任意のところに移動します。
- 《置換》 マークした選手と入れ替えたい選手を置換します。
- 《削除》 マークした選手を番外へ移動させ、番組から削除します。
- 《検索》 検索条件を設定し、選手を検索します。
- 《同所印刷》 同所属の状態を表示 / 印刷します。
- 《組分けリスト》 仮組分けリストを印刷します。
- 《番組情報》 番組情報を編集します。
- 《完了》 ボタン - マニュアルによる番組の編成を終了します。

【F1】マーク
 【F2】移動
 【F3】置換
 【F4】削除
 【F7】検索
 【F9】同所印刷
 【F8】組分けリスト
 【F10】番組情報
 【Alt + Enter】完了

- (9) マニュアルによる番組編成が終了したら、《完了》ボタンを押します。
 「番組編成リストを出力しますか？」というメッセージが表示されます。
 通常は必ず出力します。
 《OK》または《キャンセル》を押すことによって番組編成は終了します。
 番組編成の競技選択画面に戻ります。

【Enter】決定

- (10) プログラムを終了するときには画面右上の《EXIT》ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

【Ctrl + F12】終了

その他の設定

- ・トラック競技の選手配置レーンを変更する
 《1. 番組編成》を起動後、競技選択メニュー画面左下の「配置開始」ボタンから配置したいレーンを選択します。
- ・番組編成リストなどを印刷せず、リストだけ作成する
 《1. 番組編成》を起動後、競技選択メニュー画面右上の「印刷する。」ボックスからチェックをはずして番組編成をします。
- ・入力した記録を保持しながら番組編成を実行する
 《1. 番組編成》を起動後、競技選択メニュー画面右上の「記録保持」ボックスからチェックをはずして番組編成すると、記録を保持したまま番組編成することができます。



4. マスターの修正を行う

. 出場選手マスターの修正

- (1) メインメニューの《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《1. 競技者マスター》を起動します。 【F1】マスターメンテナンス
【1】+【Enter】
競技者マスター
- (2) 以下のような競技者マスターメンテナンス・トップフォームが表示されます。

競技者マスターメンテナンス・トップフォーム

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

コード>> 127000419 OK 新規登録 一覧へ【F1】

DB No (男) 氏名1 都道府県 競技コード
 No (女) 氏名2 所属団体コード

新規登録ボタン

- (3) 修正したい選手のDBコードを に入力し、OKをクリックしてその選手の情報を呼び出します。DBコード以外に以下のような検索の方法があります。
- ・DBコード 9桁のDBコードで検索します
 - ・ナンバー 男子の場合「 +*1」/女子の場合「 +*2」
 - ・氏名1 名字またはフルネームで検索します(漢字)
 - ・氏名2 名字またはフルネームで検索します(フリガナ)
 - ・都道府県 2桁の都道府県コードで検索します
 - ・所属団体コード 6桁の所属団体コードで検索します
 - ・競技コード 競技コード「種目6桁+性別1桁+種別2桁」で検索します
(ナンバー検索は、ナンバー管理プログラムをロードさせた場合のみ可能です)
- (4) 以下のような競技マスター編集画面が表示され、氏名・性別・所属都道府県・所属団体ナンバーなどが修正できます。 【Tab】項目移動
【F3】所属参照

競技者マスター編集

DBコード(4) 127000523 ナンバーカード 523

氏名漢字(30) 田中 裕之 性別 1 男子 年齢 20

氏名カナ(30) タナカ ヒロユキ 身長 1705

都道府県 27 大阪 体重 0670

所属CD(6) 272015 大阪スポーツ大 参照 F3

No	コード(5)	出場競技	資格記録	年(2)	自動番組情報
1	00200	男子 100m	11.10	04	
2	00300	男子 200m	23.52	04	
3	07300	男子 走幅跳	6m89	04	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

DB変更 変更 元を残して追加

競技登録・変更 F2 競技削除 F4 更新 F12 キャンセル

競技登録変更画面
競技マスター変更画面

競技登録ダイアログ

種目コード(3) 003 種別コード(2) 00
003 100 男子 200m

出場資格記録 0.0023.52 年(2) 04

自動番組情報 OK キャンセル

出場している競技について編集したいとき

- ・《競技登録・変更》 既に登録されている競技の内容を変更できます。また、出場競技を追加することもできます。 【F2】
競技登録・変更
- ・《競技削除》 既に登録されている競技を削除します。 【F4】削除

- (5) 各項目の編集が済んだら《更新》をクリックし、競技者マスターメンテナンス・トップフォームに戻ります。 【F12】更新



- (6) 競技者マスターメンテナンスを終了するには、 の欄を何も入力されていない状態にすると、その右にある《OK》ボタンが《終了》ボタンに変わりますので、《終了》を押してください。 【Enter】決定

選手を新規登録（追加）したい場合の処理

1. 競技者マスターを起動後、 の欄に新規登録したい選手のDBコードを入力し、「新規登録ボタン」にチェックをつけ、《OK》ボタンをクリックします。
2. 「DB [????????] を新規登録します。よろしいですか？」というメッセージが出ますので《OK》を押すと、競技者マスター編集画面が表示されますので、氏名・性別・所属都道府県・所属団体ナンバーなど必要事項を登録します。
3. 必要に応じて競技を登録します。
4. 全ての入力・登録が終了したら、《更新F12》をクリックし競技者マスターメンテナンス・トップフォームに戻ります。 【F12】更新

マスターの修正終了後は、情報をネットワークにアップロードしなくてはなりません。アップロードの方法は 4 - の項を参照してください。



4. マスターの修正を行う

・所属団体マスターの修正

- (1) メインメニューの《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《2. 所属団体マスター》を起動します。 【F1】マスターメンテナンス
【2】+【Enter】所属団体マスター

- (2) 以下のような所属団体マスターメンテナンス画面が表示されます。

入力エリア

- (3) 修正したい所属団体の行をクリックします。すると所属団体の詳細情報が の入力エリアに表示されます。修正したい項目をクリックして直接修正してください。新しく所属団体を追加したいときは入力エリアの所属コードの右にある《新規(Ctrl+N)》をクリックすると新しく所属団体を追加することができます。 【画面スクロール】
【Enter】選択修正
【Ctrl+N】新規追加

- (4) 入力・修正後は画面中央下の《保存(F12)》をクリックして保存します。 【F12】保存

- (5) 所属団体の削除
・削除したい所属団体を選択し、画面中央下の《削除(Ctrl+Del)》をクリックします。 【Ctrl+Del】削除
・「所属[?????]を削除します。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、よければ《OK》をクリックします。

- (6) 所属団体の検索
画面右下の検索ボックスに所属コード、所属名カナ、所属名のいずれかを入力し、《検索》ボタンをクリックすると所属団体を検索できます。

【F3】検索

- (7) 所属団体マスターの印刷
所属団体マスターを印刷することができます。
・ の《ファイル》をクリックし、続いて《印刷》をクリックします。
・ 「所属団体マスターメンテナンス一覧表の印刷を行います。」というメッセージが表示されますので、《OK》をクリックします。
通常使うプリンタに設定されているプリンタドライバで印刷します。 【Ctrl+P】印刷

- (8) 所属団体マスターの修正を終了するときは、画面右下の《EXIT》をクリックするとメニュー画面に戻ります。 【Ctrl+F12】終了

マスターの修正終了後は、情報をネットワークにアップロードしなくてはなりません。アップロードの方法は 4 - の項を参照してください。



4. 固定情報マスターの修正

- (1) メインメニューの《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《3. 固定情報マスター》を起動します。 【F1】マスターメンテナンス
【3】+【Enter】固定情報マスター

- (2) 以下のような固定情報マスターメンテナンス画面が表示されます。

No.	データ
0	05500101 KOTEI 8-7 (Y/N)
1	第41回 マット陸上競技選手権大会
2	兼 第3回 日本陸上競技選手権大会地区予選会
3	
4	
5	20050401
6	20050402
7	27
8	大阪陸上競技協会
9	271010
10	競技場:大阪市長居陸上競技場
11	主催:(財)日本陸上競技連盟
12	主管:大阪陸上競技協会

入力エリア

- (3) で修正したい固定情報マスターを選択します。

1- 大会の正式名称・主催者名・競技場名などの印刷物のヘッダーの登録

2- 天気コード

3- 風向コード

4- 性別コード

5- 種別コードの左の桁

6- 種別コードの右の桁

7- 予選、準々決勝、準決勝、決勝など

8- フィールド、1/100秒、1/10秒、秒

9- 未使用

10- 試合状況のマーク

11- 記録の単位

12- JISコードによる県名リストと陸連コード体系の学連、外国のリスト

13- コメントに使用するコード・表示など

14- 各種目帳票のヘッダーに印刷する歴代記録リストなど

15- 国体のコード体系による県名リスト(国体数)を含む

16- 13の解説用で13と対応

17- 記録入力画面の上に参照用に使用

18- マラソンの歴代記録情報を登録

通常修正が必要な項目は「1.5.6.13.14.16.17」です。

- (4) 入力修正する項目を選択後、修正したい行を選択すると修正可能になります。

【F12】画面スクロール

- (5) 入力修正するときは の入力エリアで修正します。

【Enter】選択修正

入力修正後《保存》ボタンをクリックすると表示が変わります。

【Enter】保存

- (6) 終了するときは、画面右上の《EXIT》をクリックするとメニュー画面に戻ります。

【Ctrl + F12】終了

マスターの修正終了後は、情報をネットワークにアップロードしなくてはなりません。アップロードの方法は 4- の項を参照してください。



4. マスターの修正を行う

・種目マスターの修正

登録されていない種目を登録したり、国際競技会などで名称を英語に修正するときに使用します。データ作成時に修正を行うので、競技中の修正は通常ありません。

- (1) メインメニューの《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《4. 種目マスター》を起動します。 【F1】マスターメンテナンス
【4】+【Enter】種目マスター
- (2) 以下のように登録されている種目の一覧が表示されます。

CODE	種目名カナ	正式種目名	種目名	単位
001	60メートル	60m	60m	0-sec
002	100メートル	100m	100m	0-sec
003	200メートル	200m	200m	0-sec
004	300メートル	300m	300m	0-sec
005	400メートル	400m	400m	0-sec
006	800メートル	800m	800m	0-sec
007	1000メートル	1000m	1000m	0-sec
008	1500メートル	1500m	1500m	0-sec
009	2000メートル	2000m	2000m	0-sec
010	3000メートル	3000m	3000m	0-sec
011	5000メートル	5000m	5000m	0-sec
012	10000メートル	10000m	10000m	0-sec
013	15000メートル	15000m	15000m	0-sec

Input Area (入力エリア) details for CODE 001:

001	60メートル
60m	
60m	0-sec

入力エリア

- (3) 修正したい種目を選択すると の入力エリアに詳細が表示されます。 【 】画面スクロール
- (4) 入力修正するときは の入力エリアで修正します。
入力修正後《更新》ボタンをクリックすると表示が変わります。 【Enter】選択修正
新しく種目を追加したいときは入力エリアの右にある《新規/クリア》をクリックすると新しく所属団体を追加できます。 【F12】更新
【Ctrl+N】新規追加
- (5) 入力・修正後は画面右下の《保存》をクリックして保存します。 【Ctrl+S】保存
また、《ソート》ボタンを押すと種目をコード順に並び替えることができます。 【F7】ソート
- (6) 種目の削除 【Ctrl+Del】削除
- ・削除したい種目を選択し、画面右下の《削除》をクリックします。
 - ・「CODE [?????] の種目を削除します。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、よければ《OK》をクリックします。
- (6) 終了するときは、画面右下の《終了》をクリックするとメニュー画面に戻ります。 【Ctrl+F12】終了

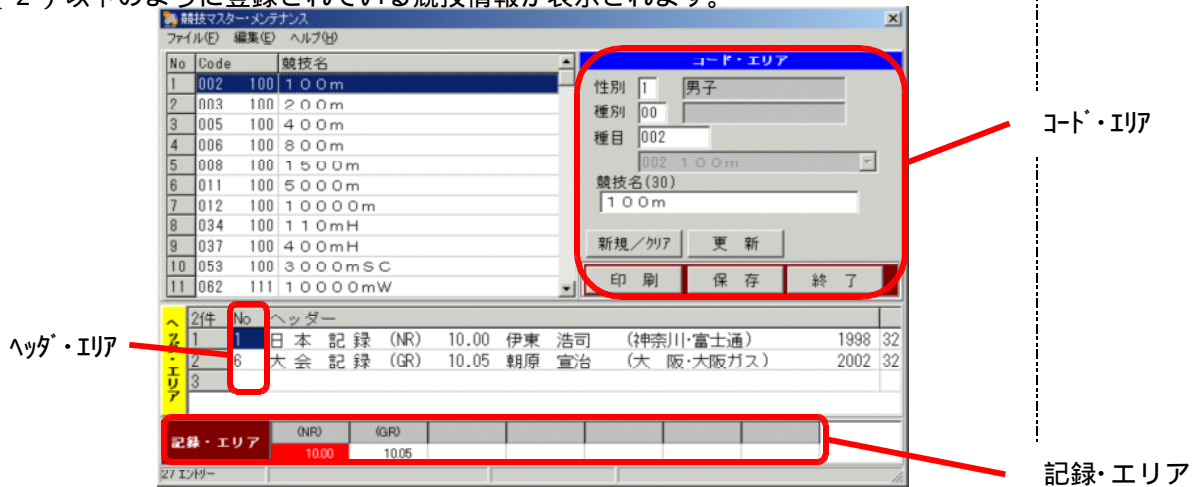
マスターの修正終了後は、情報をネットワークにアップロードしなくてはなりません。
アップロードの方法は 4 - の項を参照してください。



・競技マスターの修正

- (1) メインメニューの《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《5. 競技マスター》を起動します。 【F1】マスターメンテナンス
【5】+【Enter】
競技マスター

- (2) 以下のように登録されている競技情報が表示されます。



登録されている情報

- ・競技コード(9桁)
〔種目コード(6桁)+性別(1桁)+種別(2桁)〕
- ・競技名称 競技コードの内容を表示
- ・記録表や結果表、スタートリストに印刷されるヘッダーの歴代記録などの指定印刷する歴代記録リストの番号(固定情報マスター)を指定
- ・記録入力画面に表示する世界記録や日本記録を登録する
世界記録(WR)、日本記録(NR)、大会記録(GR)、ジュニア記録(JR)などの項目をどの順序で表示するかは固定情報マスターの〔17.画面表示歴代記録ヘッダー〕で指定

- (3) 歴代記録のヘッダーの修正

- 1) 修正したい競技の競技コードまたは競技名をクリックします。
- 2) ヘッダ・エリアにすでに登録されている歴代記録が表示されます。
- 3) の部分に登録したい歴代記録リストの番号を入力します。
【999】でリストの検索ができます。
- 4) の隣のヘッダ表示部分をクリックすると、リストの編集ができます。
- 5) 修正後 コード・エリアの《更新》をクリックします。

- 【 】競技選択
【Enter】選択
【Tab】エリア移動
【Enter】確定
【Ctrl+S】更新

- (4) 記録入力画面表示用歴代記録の修正

- 1) 修正したい競技の競技コードまたは競技名をクリックします。
- 2) 記録・エリアにすでに登録されている歴代記録が表示されます。
- 3) の修正したい項目をクリックすると、数値を入力することができます。
- 4) 数値入力後【Enter】を押し コード・エリアの《更新》をクリックします。

- 【 】競技選択
【Enter】選択
【Tab】エリア移動
【Enter】確定
【Ctrl+S】更新

- (5) 新しく競技を登録する(コード・エリア)

- 1) 《新規/クリア》ボタンをクリックします。
誤ってクリックしてしまった場合は《新規解除》ボタンをクリックします。
- 2) 性別コードと種別コードを入力し、種目を選択します。
- 3) 《更新》ボタンをクリックして種目を登録します。
- 4) 「該当するENTファイルが存在しません。作成しますか?」というメッセージが表示されますので《はい》をクリックします。

- 【F1】新規/クリア
【F1】新規解除
【Tab】移動
【Ctrl+F12】終了
【Enter】

- (6) 《印刷》ボタンをクリックすると現在登録されている競技の一覧が印刷できます。

【Ctrl+P】印刷

- (7) 終了するときは、《保存》を押し、《終了》を押すとメニュー画面に戻ります。

【Ctrl+Shift+S】
データ保存
【Ctrl+F10】終了

マスターの修正終了後は、情報をネットワークにアップロードしなくてはなりません。
アップロードの方法は 4 - の項を参照してください。



4. マスターの修正を行う

. マスターファイルのアップロードとダウンロード

マスターの修正終了後は、情報をネットワークにアップロードしなくてはなりません。アップロードは以下の手順で行います。

- (1) メインメニューの《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《7. マスターコピー》を起動します。 【F1】マスターメンテナンス
【7】+【Enter】マスターコピー
- (2) 以下のようにサーバーとローカルマシンの両方のマスター情報が表示されます。

ローカル・マスター情報						サーバー・マスター情報		
	Ver	タイムスタンプ ^o	サイズ ^o	ステータス	処理	Ver	タイムスタンプ ^o	サイズ ^o
競技者	1	2001-04-13 11:51:03	175,680	矛盾	2:→アップ	1	2001-03-19 11:06:06	175,680
所属	1	2001-03-18 11:59:30	3,456	OK		1	2001-03-18 11:59:30	3,456
個定	1	2001-04-09 13:47:28	119,520	OK		1	2001-04-09 13:47:28	119,520
種目	1	2000-02-28 13:25:10	23,936	OK		1	2000-02-28 13:25:10	23,936
競技	1	2001-03-26 11:23:26	5,376	OK		1	2001-03-26 11:23:26	5,376
No.男	1	2001-03-18 12:00:12	55,062	OK		1	2001-03-18 12:00:12	55,062
No.女		2001-03-19 11:06:06	20,496	OK			2001-03-19 11:06:06	20,496

バージョン 操作

ローカル=0 サーバ=0
ローカル+1 サーバ+1

処理方法
 全てをダウンロード
 全てをアップロード
 上記の指示でコピー

実行 終了

処理方法ボタン

- (3) 修正を行ったマシンのマスターファイルとサーバーのマスターファイルとの矛盾が生じると、自動的にステータスの欄に「矛盾」が表示され、処理の欄に「2:アップ」が表示されます。この指示に従ってサーバーのマスターファイルのバージョンを更新します。更新は処理方法ボタンの《実行》をクリックすると更新されます。 【F6】インフォメーション
【4】+【Enter】マスターコピー
- (4) コピーが終了するとステータスの「矛盾」が「OK」に変わり、マスターのバージョンが1つずつ更新されます。
- (5) 処理を終了するときは、画面右下の《終了》ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。 【F3】記録エントリー
【3】+【Enter】MCOPY
- (6) マスター修正を実行した記録コントロールマシンとサーバー以外のマシンのマスターファイルの更新は、インフォメーション系のマシンは《インフォメーション》メニューの《4. マスターコピー(自動)》で更新し、それ以外のマシンは《記録エントリー》メニューの《3. MCOPYマスターコピー》で更新します。
- マスター修正後に起動させるマシンは、自動的にマスターをコピーしてくるので改めて実行する必要はありません。



5. 気象情報の入力

- (1) メインメニューの《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《2. コンディションマスター》を起動します。 【F3】記録エントリー【2】+【Enter】コンディションマスター
- (2) 以下のようなコンディションマスターメンテナンスが表示されます。

No	日付	時刻	天候	気温	湿度	風向	風速	気圧	場所名
1	2005年 4月 1日	10:00	晴れ	20.0℃	58%	北東	0.5m/s	1013hPa	競技場
2	2005年 4月 1日	11:00	晴れ	21.5℃	58%	東	1.5m/s	1013hPa	競技場
3	2005年 4月 1日	12:00	晴れ	23.0℃	58%	東	0.2m/s	1013hPa	競技場
4	2005年 4月 1日	13:00	晴れ	24.0℃	55%	北東	0.3m/s	1013hPa	競技場
5	2005年 4月 1日	14:00	晴れ	25.0℃	53%	東北東	0.1m/s	1013hPa	競技場

- (3) 《新規》ボタンをクリックし入力エリアから気象情報を入力します。

項目

- 1) 日付 西暦4桁+月2桁+日2桁
- 2) 時刻 24時間制で時2桁+分2桁
- 3) 天候 選択します
- 4) 気温 ???.?
- 5) 湿度
- 6) 風向 選択します
- 7) 風速
- 8) 気圧
- 9) 場所 観測場所

【Tab】項目移動

- (4) すべての項目を入力した後、《保存》ボタンをクリックすると登録されます。

【Ctrl + S】保存

- (5) 情報を印刷する。
登録した項目を印刷したい場合は、《印刷》ボタンをクリックします。

【Ctrl + P】印刷

右図のような画面が表示されます。

・出力するコンディションを左のボックスから選択します。

・オプション項目で出力する条件を選択します。

・サイン欄を出力したい場合は、出力したい項目のチェックボックスにチェックをつけます。

各種設定後、印刷ボタンをクリックするとコンディションが印刷できます。このとき、印刷されるプリンタはWindowsで通常使うプリンタに設定されているプリンタとなります。

- (6) 入力エリア右下の《終了》ボタンをクリックすると、コンディションマスターメンテナンスを終了します。 【Ctrl + F12】終了

DOS版とWindows版の互換性について

DOS版ですでに入力してあるコンディションデータより古いデータを追加した場合、DOS版では登録後日付時刻順に並び変わりますが、Windows版では最後に入力したものが下に並んでしまいます。この問題を解決するためには、Windows版で一度コンディションマスターを起動し、《保存》を押すと日付時刻順に並びます。



6. タイムレースの決勝を作成する (RelJ/L)

- (1) メインメニューの《記録エントリー》ボタンをクリックし、さらに《1. コンソラー》を起動します。 【F3】記録エントリー
【1】+【Enter】コンソラー
- (2) 結合したいレースの1組目を右クリックし《詳細表示》を選択して「レース参照画面」を表示します。 【 】移動
【Alt+Enter】詳細表示
- (3) 結合したいレースが終了していることを確認します。
確認後、《タイムレース決勝作成ボタン》をクリックします。



タイムレース決勝作成ボタン

- (4) パスワードを入力すると、右のような画面が表示されます。
- (5) 結合するレースを選択します(種目名が反転します)。すると、出力先(結合後)の情報が自動的に割り当てられますので、確認後《OK》をクリックします。
- (6) 「~ですが、よろしいですか?」というメッセージが表示されますので《OK》をクリックします。
これで、プログラム・コンソラーのあいているところ(おもに一番下)に新しい結合したレースが作成されます。
- (7) 新しく作成したレースを選択し、右クリックで《詳細表示》をクリックします。「レース参照画面」が表示された状態で【Ctrl+F4】を押すとパスワードダイアログが表示されますのでパスワードを入力してください。 【Alt+Enter】詳細表示
【Ctrl+F4】記録入力
- (8) 「レース開始時刻の入力」ボックスが表示されますが、すでに入力されているのでそのまま《OK》をクリックします。すると、入力モードに変わります。 【Enter】OK
- (9) 《順位付け》ボタンをクリックして記録順に並べ替えます。 【F7】順位付け
- (10) 処理を完了したら《入力終了》ボタンをクリックします。
・終了属性を選択します。「完了」...通常終了 「未完了」...一時(仮)終了
・印刷指示を選択します。「印刷しない」
以上の項目を入力または選択して、《OK》をクリックすると記録入力画面からレース参照画面へと戻ります。 【Alt+Enter】入力終了
【 】選択
【Enter】決定
- (11) 各部署・結果の発表については競技会リストを印刷して配布することをおすすめします。詳しくは、「8. 競技会リストの作成」を参照してください。



7. 印刷スプーラーの設定

(1) メインメニューの《印刷スプーラー》ボタンをクリックします。
すると、以下の9つのボタンが表示されます。

1. 印刷スプーラー追加設定 ... 2 ~ 9 の機能に自由に設定できます。
2. 印刷スプーラー ... 通常の印刷スプーラーの設定です。
3. 印刷スプーラー (自動CH1)
4. 印刷スプーラー (自動CH2)
5. 印刷スプーラー (自動CH3)
6. 印刷スプーラー (スタートリスト) ... スタートリストと結果 (リザルト) を自動で印刷します。6 ~ 9 が起動している時は、結果のみ印刷されます。
7. 印刷スプーラー (スタートリスト自動CH1)
8. 印刷スプーラー (スタートリスト自動CH2)
9. 印刷スプーラー (スタートリスト自動CH3) ... スタートリストのみを印刷します。

3 ~ 5、7 ~ 9 はそれぞれ同じものを2つ以上同時に起動することができません。
例) 3 を起動しているときに、さらにもう1台スプーラーを起動しようとするときは4を起動してください。



機能ボタン説明

(左から)

- | | |
|-------|------------------------------|
| 印刷 | 選択したリストを印刷します |
| 任意印刷 | 任意のファイルを印刷します |
| 印刷設定 | プリンターを設定します |
| View | 選択したリストを表示します |
| 最新 | 最新情報を表示します |
| Other | 任意のスプール制御ファイル名を指定できます |
| 設定 | 印刷を自動印刷に設定します |
| Clear | 現在のスプール制御ファイルをリネームして新規に設定します |

(2) 処理を終了するとき、画面右下の《終了》ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

【F9】印刷スプーラー
【1 ~ 9】+【Enter】
左表各機能選択

【F9】印刷
【Ctrl+Shift+F9】
任意印刷
【Shift+F9】
印刷設定
【F2】View
【F5】最新表示
【Ctrl+F9】設定

【Ctrl+F12】終了



8. 競技会リストの作成

(1) メインメニューの《**競技会リスト**》ボタンをクリックし、さらに《**1. 競技会リスト**》を起動します。

【F8】競技会リスト
【1】+【Enter】競技会リスト
【Tab】項目移動

(2) 競技会リストに関する設定を行います。(右図参照)

- ・ 1ページあたりの行数 (0で改ページなし)
- ・ 印刷指示
 - 印刷する - 競技会リストを作成しているマシンに接続されているプリンタに出力します。
 - スプーラーに出力 - 印刷スプーラーにリストを出力します。
 - ファイル作成のみ - リストファイルのみ作成され、印刷されません。
- ・ ピッチ (dpi)
- ・ 大会タイトルを付ける / 付けない
- ・ 印刷氏名
 - 両方印刷 - N1とN2の両方を印刷します。
 - Name1のみ印刷 - N1 (漢字など) の項目のみ印刷します。
 - Name2のみ印刷 - N2 (フリガナなど) の項目のみ印刷します。
- ・ 印刷人数の設定 (記録上位何名を印刷するか)
全員 / 10 / 20 / 50 から選択します。
- ・ 設定保存ボタン
諸設定を保存できます。

(3) 競技会リストの作成

- 1) リストの作成したい種目をクリックし選択します。
- 2) 画面左下の《**印刷検索**》ボタンをクリックします。
すると、画面上部に作成可能なリスト項目が表示されます。

【F9】印刷検索

印刷可能なリスト項目

No	競技名	予選	2次予選	準決勝	総合リスト
3	男子 400m				
4	男子 800m				
5	男子 1500m				
6	男子 5000m				
7	男子 10000m				
8	男子 110mH(1.067m)	予選リスト			総合リスト
9	男子 400mH(0.914m)				
10	男子 3000mSC				
11	男子オープン 10000mW				
12	男子 4x100m				
13	男子 4x400m				
14	男子 走高跳				
15	男子 棒高跳				
16	男子 走幅跳				
17	男子 三段跳				
18	男子 砲丸投				
19	男子 円盤投				
20	男子 ハンマー投				
21	男子 やり投				
22	女子 100m				

- 3) 印刷したいリスト項目をクリックします。
「タイトルを入力してください。」と表示されますので、タイトルを入力し《OK》をクリックします。
- 4) 以上で競技会リストが作成されます。競技会リストを作成すると、作成したことがそれぞれの項目欄に表示されます。

【F1】予選・2次
【F2】2次予選
【F3】準決勝
【F4】全体リスト

(4) 競技会リスト作成の終了

画面右下の《**終了**》ボタンをクリックするとメニュー画面に戻ります。

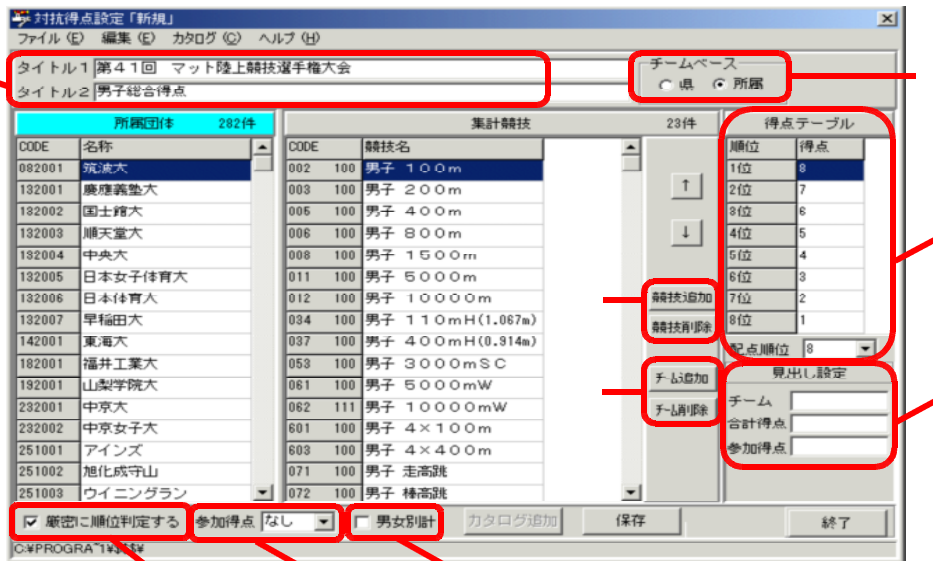
【Ctrl + F12】終了



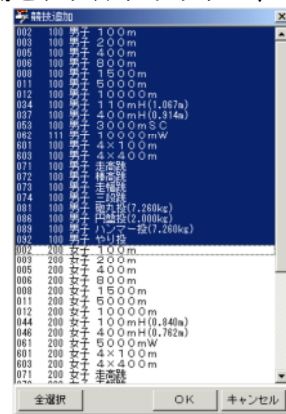
9. 対抗得点集計システム

対抗得点設定

- (1) メインメニューの《マスターメンテナンス》ボタンをクリックし、さらに《9. 対抗得点設定》を起動します。 【F1】マスターメンテナンス
【9】+【Enter】対抗得点設定
- (2) 新規集計を作成します。 【F1】新規集計作成
- 画面左上の《ファイル》から《新規集計作成》を選択します。
 - 新規集計が作成され、タイトル1、タイトル2に現在選択中の競技会名などがセットされますが、タイトル2には競技会名2ではなく、この得点集計表の名称（例えば「男子総合」など）を入力してください。



- 所属団体単位で得点を集計するか、都道府県単位で得点を集計するかを から選択します。
- で与えるポイントの順位と得点を設定します。配点順位のプリセットから「8」か「6」を選択すると自動的に得点テーブルに得点がセットされます。8点制、6点制以外の場合は、得点テーブルの数字の欄をダブルクリックし、直接編集して順位と得点設定します。
- の《競技追加》ボタンをクリックし、競技追加ウィンドウを表示します。ウィンドウを表示した時点で、すでにすべての競技が選択された状態になっているの集計したくない競技名をクリックして青い選択状態を解除します。誤って選択を解除してしまった場合は、その競技名をもう一度クリックすることで選択状態に戻すことができます。



直接入力の状態
【スペース】+【Enter】
選択 / 選択解除

集計したい競技のみが選択されている状態になれば《OK》ボタンをクリックして競技をセットします。また、《競技削除》ボタンを使えば、集計競技欄に一度セットした競技を削除することもできます。

競技の並び順を入れ替えたい場合

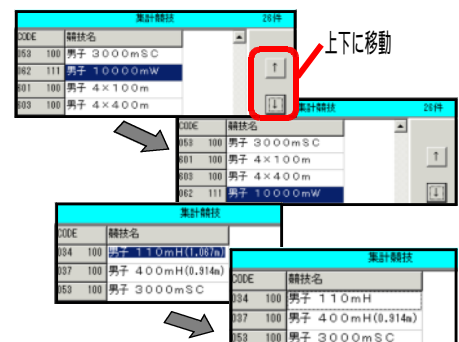
(例. 10000mWを4×400mの後に移動したい場合)

- 移動したい競技名を選択します。
- 右図の矢印ボタンで移動させたい場所まで移動します。

表示される競技の名称を変更したい場合

(例. 男子110mH(1.067m)を男子110mHに変更したい場合)

- 名称を変更したい競技名をダブルクリックします。
- 直接編集モードになりますので、希望の競技名称に変更します。
- 変更後は【Enter】キーを押して確定します。



- 6) の《チーム追加》ボタンをクリックし、集計する所属団体または都道府県を選択します。チーム名は、集計する得点がなければ印刷リストには出力されないの、すべてのチーム名を登録しておいてかまいません。画面左下の《全選択》ボタンを押し、《OK》ボタンをクリックすればチームの追加は完了です。また《チーム削除》ボタンを使えば、所属団体又は都道府県欄に一度セットした所属団体または都道府県を削除することもできます。
- 7) 必要に応じて厳密に順位判定をするかどうかを指定します。通常、都道府県対抗の場合は厳密に順位判定しないので のチェックをはずし、所属団体別の場合は厳密に順位判定するので にチェックを付けます。
「厳密に順位付けする」とは、同得点が2チーム以上あった場合、同順位とせず、1位の多いチームを上位にし、1位の数が同じならば2位の多いチームを上位に、という具合に順位付けする方法のことです。
- 8) 国体のように参加得点があたえられる場合は、 で設定します。あたえない場合は「なし」を選択します。
- 9) 男女を合わせた総合得点と、男女別の総合得点を同時に集計したい場合には、 にチェックを付けます。
- 10) 得点表の見出しを設定します()。
 - ・「チーム」...チーム名、学校名、高校名、大学名など
 - ・「合計得点」...総合、総合得点、合計、合計得点など
 - ・「参加得点」...参加得点など
 各項目とも見出し名が不要な場合は空欄にしておきます。
- 11) すべての項目が設定できたら、画面右下の《保存》ボタンをクリックしファイル名をつけて保存します。
注1) この対抗得点集計のファイルはCSV形式で保存されるため、直接Excelやエディターなどで編集することも可能です。
注2) この対抗得点集計のファイルを以前のDOS版の大会運営システムで使用することはできません。Windows版(Athle32)専用の得点設定ファイルとなります。

【Ctrl + S】保存

(3) カタログへの登録

カタログは、実際に得点集計をしたり参照したりする側が、速やかに対抗得点ファイルを選択できるように選びやすくするためのものです。

- 1) 画面上部の《カタログ》から《カタログディレクトリの変更》をクリックし、カタログの保存先ディレクトリを指定します。指定した後は、画面左下に参照しているディレクトリ名が表示されています。
- 2) 画面左上の《ファイル》から《カタログに追加》を選択するか画面中央下の《カタログ追加》ボタンをクリックし、「名称」 で追加します。よろしいですか? というメッセージが表示されたら、《OK》を選択し、現在表示中の対抗得点集計設定をカタログへ登録します。
また、不要になった集計をカタログから削除してその大会で使用するものみにすることで、利用しやすくなります。削除は、画面上部の《カタログ》の《Catego.csvリスト選択(編集/削除)》から行い、またその際にカタログに表示される対抗得点の名称もわかりやすいものに変更ができます。

【F 3】カタログに追加

競技会中は、通常下図のような設定にしておくことをおすすめします。

この図では、サーバのTOKUTENフォルダに各種対抗得点設定ファイルとカタログファイルが保存してあるという状態です。

カタログファイルを参照することで、ネットワーク上のどのコンピュータからでもこのカタログファイルから得点集計したい競技を選んで、得点集計を行うことができます。

No	名称	場所
1	男子総合得点	F:\TOKUTEN\in-m.csv
2	男子トラック競技得点	F:\TOKUTEN\in-mt.csv
3	男子フィールド競技得点	F:\TOKUTEN\in-mf.csv
4	女子総合得点	F:\TOKUTEN\in-w.csv
5	女子トラック競技得点	F:\TOKUTEN\in-wt.csv
6	女子フィールド競技得点	F:\TOKUTEN\in-wf.csv

- (4) 以上で設定は終了です。画面右下の《終了》ボタンをクリックすると、サブメニュー画面に戻ります。

【Ctrl + F12】終了



対抗得点集計

- (1) メインメニューの《対抗得点》ボタンをクリックし、さらに《1. 対抗得点》を起動します。

【F 7】対抗得点
【1】 + 【Enter】
対抗得点

- (2) 集計を開きます。

「カタログ」から開く

- 画面上部の《カタログ》から《Catego.csvリスト選択(編集/削除)》を選択します。
- 集計したい得点ファイル名をクリックし、画面右下の《OK》ボタンをクリックすると集計を開くことができます。

【F 8】
Catego.csvリスト選択
【Enter】OK

「集計を開く」から開く

- 画面左上の《ファイル》から《集計を開く》を選択します。
- 直接集計したい得点ファイルの格納先を選択し、《開く》をクリックします。

順位	チーム名	総合順位	100m	200m	400m	800m	1500m	5000m	10000m	110mH	400mH	3000mSC	5000mW	10000mW	4x100m	4x400m	5000m	10000m	3000mSC	5000mW	10000mW	4x100m	4x400m	5000m	10000m
1	山陽特殊製鋼	29					8		21																
2	天理大	28			3					7															5
3	関西大	22			2					8						8								4	
4	大阪府警	16					11		5																
5	大阪体育大	16									4														1
6	洛南高	15													8	7									
7	帝塚山大	14														14									
8	大阪陸協	14																							
9	国士館大	13																							5
10	同志社大	12																					8		
11	大阪ガス	12			*10			1																	
12	龍谷大	11									7					4									
13	大阪市役所	11												5											6
14	京都府協	10												4											

- (3) 得点集計を行います。

- 1) 得点集計をします。

- 単一競技のみ集計... 集計したい競技の得点表示欄をクリックし、その後の《単・競技集計》をクリックします。その競技が終了してれば自動的に得点が集計され種目名の欄が黄色に変わります。
- 全競技を一括集計... の《全・競技集計》をクリックします。競技が終了しているものすべてが自動的に集計されます。
- 未集計分を一括集計... の《未集計分集計》をクリックします。まだ集計されていない競技で競技が終了しているもの全てが自動的に集計されます。

【F 2】単競技集計

【F 3】全競技集計

【F 4】未集計分集計

- 2) 各集計法で集計後、で並び順(ソート順)を選択します。

- 3) ボーナス得点などで強制的に得点を変更したい場合は、変更したい得点の欄を選択後、の《得点強制変更》ボタンをクリックし追加得点を設定することができます。強制的に変更した後の得点には「*」が表示されます。

得点強制変更画面

注) 得点を強制変更後、その競技を再び単集計または全競技集計すると、変更した得点が元に戻ってしまいますので注意が必要です。

【F 1】ソート順切替

【F 6】強制変更

- 4) でセルの表示形式を得点表示にするか順位表示にするかを選択できます。

【F 5】表示切替

- 5) すでに集計済みのある一つの競技の得点を消去したい場合は、得点消去したい競技の得点欄を選択後、画面左上の《編集》 - 《単競技得点消去》の順にクリックすると得点を消去することができます。

【Shift + Del】

単競技得点消去

- (4) 得点表を印刷します。

画面左上の《ファイル》メニューから《印刷》を選択し、日付・大会名などを付けるかどうか設定します。

【Ctrl + P】印刷

【Ctrl + Alt + P】

印刷設定

設定後、《印刷》をクリックすると得点表が印刷されます。

- (5) 得点集計を終了するとき、画面右下の《終了》ボタンを押すとメニュー画面に戻ります(集計した得点は自動的に保存されています)。

【Ctrl + F12】終了

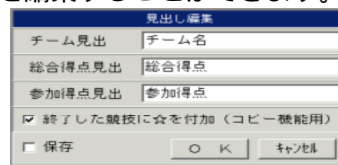


(6) その他の機能について

見出しの編集

「チーム」「合計得点」「参加得点」などの見出し名を編集することができます。

- ・画面左上の《編集》から《見出編集》をクリックします。
- ・各項目を入力編集後、《OK》をクリックすると反映されます。



CSVファイルへの出力

得点表をCSV形式のファイルに出力変換することができます。

- ・画面左上の《編集》から《CSV出力》をクリックします。
- ・保存先を聞いてきますから、指定し、ファイル名を付けて保存します。

【Shift + F 9】
CSV出力

Excelなどへの得点表のコピー

得点表をExcelなどへコピーし編集することができます。

- ・画面左上の《編集》から《全選択》をクリックし、その後《コピー》をクリックします。
- ・Excelなどの編集したいソフトを起動し、《貼り付け》を選択します。すると、得点表がコピーされ、編集することができます。

【Ctrl + A】全選択
【Ctrl + C】コピー
【Ctrl + V】貼付



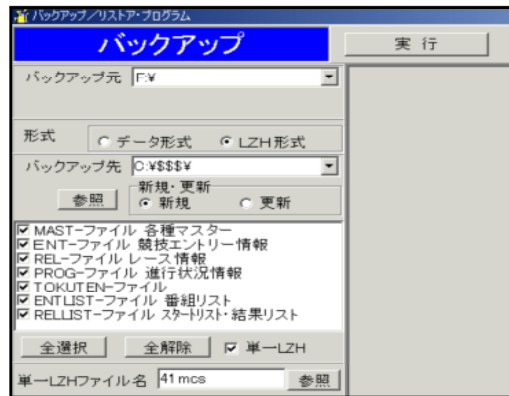
データのバックアップとリストア

競技会終了後にデータのバックアップを取ったり、取ったバックアップデータを復元したりします。

データのバックアップ

1. メインメニューの《システム・メンテナンス》ボタンをクリックし、パスワードを入力すると、システムメンテナンスメニューが表示されます。
2. 《3. データのバックアップ》をクリックします。すると、以下のような画面が表示されます。
3. バックアップに関する設定をします。
バックアップ元を指定します。通常競技会の時は、「F:¥」にします。
保存形式を指定します。
・データ形式...データのまま保存
・LZH形式...LZH形式で圧縮保存
バックアップファイルの保存先を指定します。《参照》ボタンをクリックすると、ディレクトリの選択ができます。
バックアップを新規で作成するか、既存のファイルを更新するかを選択します。
どのファイルのバックアップを取るかを選択します。
・MAST-ファイル 各種マスターファイル
・ENT-ファイル 競技エントリー情報関係ファイル(ent*.dat)
・REL-ファイル レース情報関係ファイル(rel*.dat)
・PROG-ファイル 進行状況・グラコン
・TOKUTEN-ファイル 対抗得点ファイル
・ENTLST-ファイル 番組リスト
・RELLST-ファイル スタートリスト・結果リスト
全選択する場合は《全選択》を、全解除する場合は《全解除》をクリックします。
単一の圧縮ファイルを作成したい場合は、「単一LZH」にチェックを付け、その下に表示されるファイル名の欄にLZHのファイル名を入力します。更新の場合は《参照》ボタンで既存のファイル選択することもできます。
4. 設定完了後、画面上部の《実行》ボタンを押すとバックアップが開始されます。
5. バックアップ終了後、画面右下の《終了》ボタンをクリックすると、サブメニュー画面に戻ります。

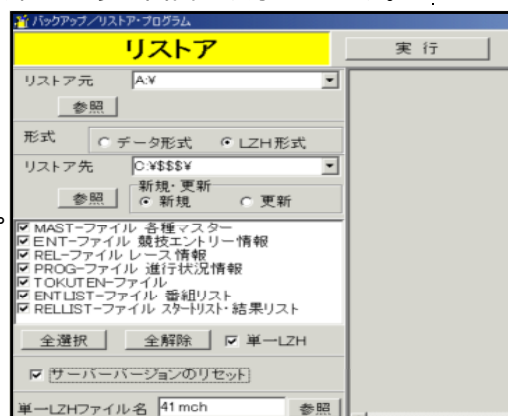
【F 5】システム・メンテナンス
【3】 + 【Enter】
データのバックアップ



データのリストア

1. メインメニューの《システム・メンテナンス》ボタンをクリックし、パスワードを入力すると、システムメンテナンスメニューが表示されます。
2. 《2. データのリストア》をクリックすると、以下のような画面が表示されます。
3. リストアに関する設定をします。
リストア元を指定します。
リストアするデータの形式を指定します。
リストア先を指定します。通常競技会では「F:¥」にします。
リストアを新規（フォルダを新規作成）で行うか、既存データを更新して行うかを指定します。
どのファイルをリストアするか選択します。
リストアファイルの形式が単一LZHの場合選択し、LZHファイル名を入力します。
リストア後、サーバーのバージョンを『1』にリセットするかを選択します。
4. 設定が完了したら、画面上部の《実行》ボタンをクリックするとリストアが開始されます。
5. リストア終了後、画面右下の《終了》ボタンをクリックすると、サブメニュー画面に戻ります。

【F 5】システム・メンテナンス
【2】 + 【Enter】
データのリストア

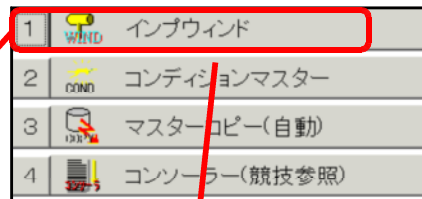


インブウィンド (風力コントロール)

風力情報を管理し、風力の必要なレース（試技）を指定して風力を割り当て、データを更新することができます。また連動可能なデジタル風力測定装置と接続し、自動的に風力情報を受信してその情報をレース（試技）に割り当てることもできます。

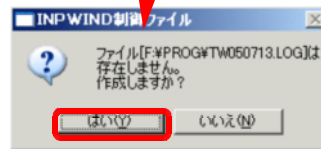
1. 風力コントロールの起動

1) メインメニューの《風向風速管理》ボタンをクリックし、《1. インブウィンド》を起動します。



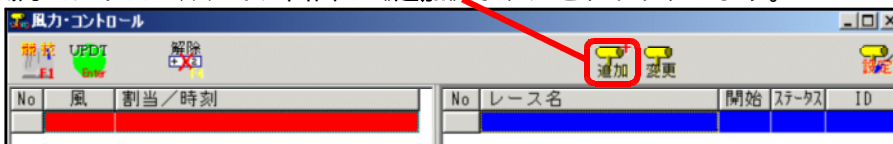
【F 10】風向風速管理
【1】 + 【Enter】
インブウィンド

2) 毎日初回起動時には、INPWIND制御ファイル（データを保存しておくファイル）を作成するメッセージが表示されます。
《はい》をクリックしてファイルを作成して下さい（ファイル名は「TWyymmdd.LOG」となります）。



2. 風力の追加

1) 風力コントロールメイン画面の《追加》ボタンをクリックします。



【Insert】追加

2) 風力入力欄が表示されたら、風力を入力します。

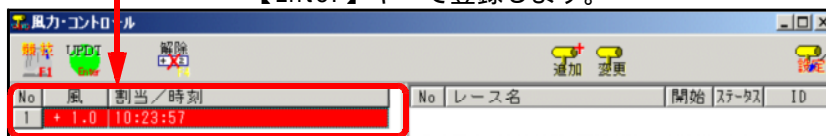


入力形式 + . または - .
「.」はあらかじめ入力されています。

例) +1.0の場合「+1」「Enter」(移動)「0」と入力
【Enter】キーで登録します。

【数字】キー
【Enter】移動・登録

風力を入力して
【Enter】で登録



ここに風力とその登録した時刻が表示されます。

誤って風力を入力した場合など、一度入力した風力を編集したい場合は、編集したい風力を選択し《変更》ボタンをクリックして値を修正してください。

【F 2】変更

3. トラック競技への割り当て方法

1) 「2. 風力の追加」の手順で風力を追加します。

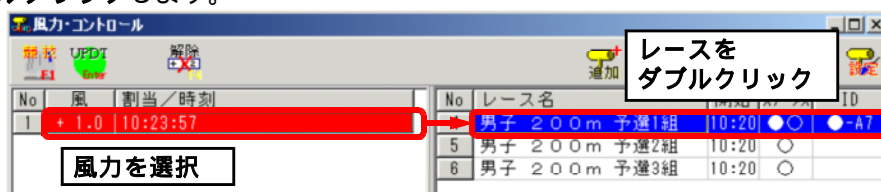
2) 《競技》ボタンをクリックすると、当日予定されている競技が表示されるので、風力を割り当てたい競技をダブルクリックします。

【F 1】競技選択



選択するとレースが表示されます。

3) 画面左側で割り当てたい風力を選択した後、画面右側で割り当てたいレースをダブルクリックします。



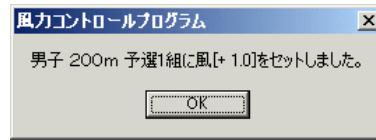
レースを
ダブルクリック

風力を選択

【Enter】風割当て



割り当て確認メッセージが表示されますので《OK》ボタンをクリックしてください。
これで、割り当ては完了です。
《解除》ボタンをクリックすると一度割り当てた風力を解除することができます。



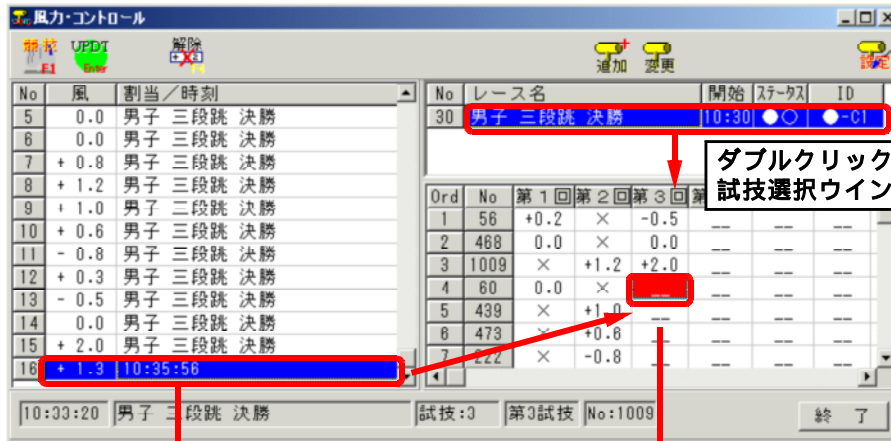
【Enter】OK

【F 4】割り当て解除

4. フィールド競技への割り当て方法

- トラック競技の割り当てと同様に、《競技》ボタンをクリックして割り当てたい競技を選びます。風力を割り当てたいレースをダブルクリックすると、その下に試技選択ウインドウが表示されます。

【F 1】競技選択

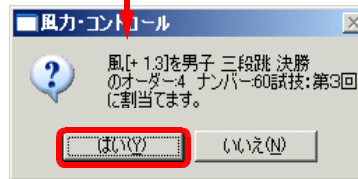


- 画面左側で割り当てたい風力を選択した後、画面右下で割り当てたい試技をダブルクリックします。

【 . 】移動

【Enter】風割り当て

- 割り当て確認メッセージが表示されますので《はい》ボタンをクリックしてください。この操作を、全試技が終了するまで行えば登録完了となります。
《解除》ボタンをクリックすると一度割り当てた風力を解除することができます。



【Enter】はい

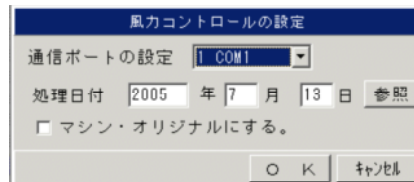
【F 4】割り当て解除

6. 風力コントロールの設定

- 画面右上の《設定》ボタンをクリックすると「風力コントロールの設定」ウインドウが表示されます。

【F 8】設定

- 通信ポートの設定は、風力測定装置との接続に使うポートを指定できます。
- 参照ボタンをクリックすると、現在選択中の風情報ログファイル以外の日付のログファイルを処理対象とすることができます。これにより、前日の風や以前の風についても後日処理することができます。



- 設定終了後、《OK》ボタンをクリックします。このとき、処理日付に新しい日付を入力した場合は、INPWINDの制御ファイル「TWyymmdd.LOG」ファイルを作成するかどうかを聞いてきますので、《はい》をクリックすると、新しい風力コントロール画面を開くことができます。

【Enter】OK

7. 風力測定装置からの自動受信

連動可能なデジタル風力測定装置とコンピュータをRS232C/422で接続すると、測定した風力を自動的にコンピュータに取り込むことができます。
「2. 風力の追加」が自動的に行われるだけで、割り当てる操作は手動で風力を追加する場合と変わりありません。
デジタル風力測定装置との接続には、通信ポートの設定が必要となる場合があります。設定は「6. 風力コントロールの設定」を参照してください。

- 処理をすべて終了するときは、画面右下の《終了》ボタンをクリックすると、サブメニュー画面に戻ります。

【Ctrl + F 12】終了



複数レース処理

この処理では、1台のコンピュータで種別（組）の異なるレースを複数同時に処理することができます。

例) 男子5000m決勝と男子オープン5000m決勝の複数レース入力処理画面

オーダー	順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	レース
5	1	534	岩熊 勇治	大阪・NTT西日本大阪	14:10.34		1
3	2	631	梅田 健吾	兵庫・山陽特殊製鋼	14:19.02		1
6	3	630	植松 翼	兵庫・山陽特殊製鋼	14:22.84		1
8	4	628	柴田 学	兵庫・山陽特殊製鋼	14:23.67		1
2	5	537	境田 孝将	大阪・大阪府警	14:35.98		1
10	6	12	久文 貞明	滋賀・日本精工	14:44.44		1
4	7	8	岩本 照暢	滋賀・積水化学	14:50.00		1
7	8	268	稲井 義幸	京都・立命館宇治高	14:58.09		1
9	9	614	上岡 宏次	兵庫・神戸市陸協	15:00.38		1
1	10	432	佐嘉田 和外	大阪・関西大	15:11.27		1
11	1	634	渡邊 真一	兵庫・山陽特殊製鋼	14:26.86		2
16	2	540	得能 正廣	大阪・大阪府警	14:31.15		2
15	3	531	二宮 賢治	大阪・NTT西日本大阪	14:36.38		2
12	4	231	西村 祥治	京都・京都大	15:15.74		2
14	5	1038	山口 敏幸	和歌山・和歌山大	15:16.42		2
13	6	29	古川 博章	滋賀・大阪学院大	15:20.22		2

● 複数レース処理に関する注意事項と処理を行うための準備

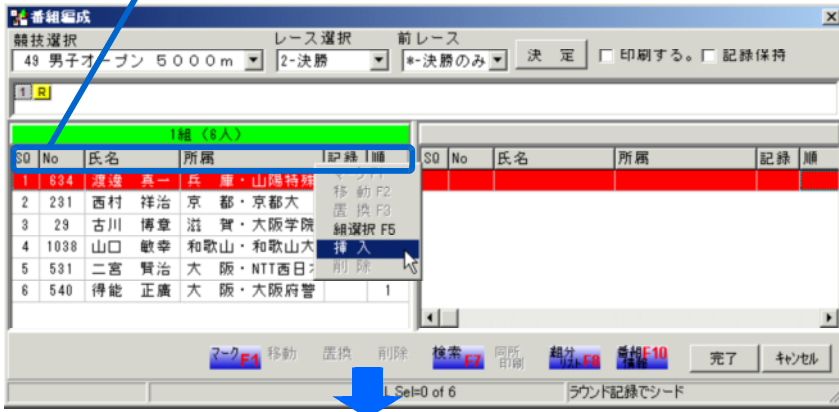
- ・この処理は、すべてのトラック・フィールド競技（混成競技の個々の競技は不可）、駅伝・クロスカントリーリレー以外の道路競技において使用可能です。混成競技には対応していません。同時に処理できるのは同一種目に限られます。
- ・複数同時に処理できる最大レース数は5レースです。
- ・トラック競技の場合は、同時に処理しようとしているレース（組）に、同一のレーン（オーダー番号）が存在すると同時入力処理はできません。事前に番組編成を行い、レーンが重ならないように調整しておく必要があります。上図の例では、事前の番組編成の段階で、男子5000m決勝のレーン配置を1～10レーンに、男子オープン5000mのレーン配置を11～16レーンにしています。
- ・途中時間の入力には対応していません。
- ・高跳系競技において、バーの高さは同一処理する全てのレースにおいて同一のものとなります（高さが異なる場合、複数レース同時処理はできません）。また、複数レース処理中は、決勝試技の入力はできません。



● 複数レース処理に対応した番組編成

前項でも解説されている通り、トラック競技において複数レース処理する場合は事前に番組編成でレーンが重ならないように調整しておく必要があります。手順は以下の通りです。

番組編成のマニュアル調整画面において、この部分を右クリックし、表示されたメニューから《挿入》を選択する。



空の行が1行挿入され他のレーンが下にずれる。

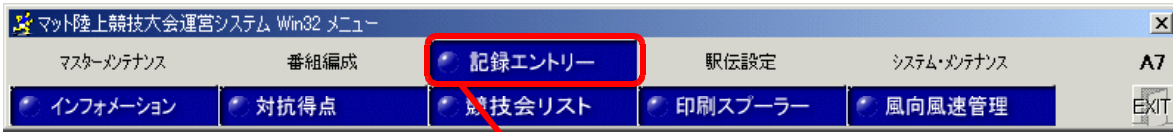


全ての行が1行（1レーン）下に移動するので、この操作を繰り返し、配置開始レーンを調整する。

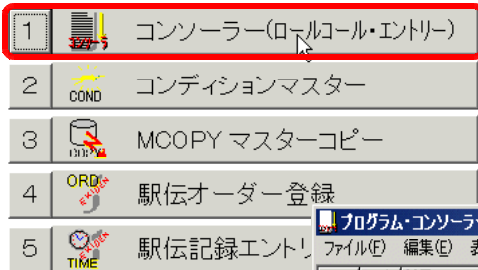


● 複数レース同時記録入力処理 (競走競技)

コンピュータを起動すると、以下のようなメニューが表示させます。



1. 《記録エントリー》をクリックします。 【F 3】記録エントリ



2. 《1. コンソラー(ローカル・エントリー)》をクリックします。 【1】 + 【Enter】

3. 記録を入力するレースを右クリックし、《詳細表示》を選択します。 【Alt + Enter】 詳細表示

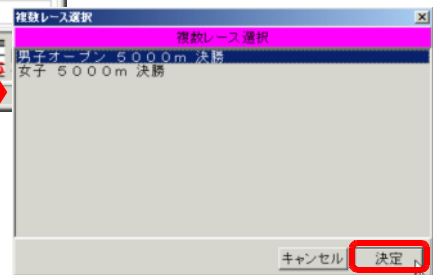


4. 「レース参照画面」が表示されたら、画面中央下の《複数レース呼び出し》を選択します。



【Ctrl + F 4】記録入力

5. 「複数レース選択」ウィンドウが表示されます。同時処理したいレースを選択し、《決定》ボタンをクリックします。



6. 参照していた画面の下に、「複数レース選択」で選択した種目がつながったレース参照画面が表示されますので、**レース名部分を右クリックして《記録入力》を選択します。**

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	レース
1	432	佐嘉田 和外	大阪・関西大			1
2	537	境田 孝将	大阪・大阪府警			1
3	631	梅田 健吾	兵庫・山陽特殊製鋼			1
4	8	岩本 照暢	滋賀・積水化学			1
5	534	岩熊 勇治	大阪・NTT西日本大阪			1
6	630	植松 翼	兵庫・山陽特殊製鋼			1
7	268	稲井 義幸	京都・立命館宇治高			1
8	628	柴田 学	兵庫・山陽特殊製鋼			1
9	614	上岡 宏次	兵庫・神戸市陸協			1
10	12	久文 貞明	滋賀・日本精工			1
11	634	渡邊 真一	兵庫・山陽特殊製鋼			2
12	231	西村 祥治	京都・京都大			2
13	29	古川 博章	滋賀・大阪学院大			2
14	1038	山口 敏幸	和歌山・和歌山大			2

7. パスワードとレース開始時刻を入力し《OK》をクリックします。記録入力画面に切り替わります。

8. 記録を入力します。入力方法は、通常の記録入力方法と同様です(オートタイム入力にも対応しています)

9. 全ての競技者に記録が割当てれば、次に順位付けを行います。
《順位付け》ボタンをクリックし、記録順に並べ替えます。このとき順位は自動的にレースごとに付けられます。

例) 男子5000mの順位

男子オープン5000mの順位

順位付けボタン

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	レース
5	1	534	岩熊 勇治	大阪・NTT西日本大阪	14:10.34	1
3	2	631	梅田 健吾	兵庫・山陽特殊製鋼	14:19.02	1
6	3	630	植松 翼	兵庫・山陽特殊製鋼	14:22.84	1
8	4	628	柴田 学	兵庫・山陽特殊製鋼	14:23.67	1
2	5	537	境田 孝将	大阪・大阪府警	14:35.98	1
10	6	12	久文 貞明	滋賀・日本精工	14:44.44	1
7	7	8	岩本 照暢	滋賀・積水化学	14:50.00	1
7	8	268	稲井 義幸	京都・立命館宇治高	14:58.09	1
9	9	614	上岡 宏次	兵庫・神戸市陸協	15:00.38	1
1	10	432	佐嘉田 和外	大阪・関西大	15:11.27	1
11	1	634	渡邊 真一	兵庫・山陽特殊製鋼	14:26.86	2
16	2	540	得能 正廣	大阪・大阪府警	14:31.15	2
15	3	531	二宮 賢治	大阪・NTT西日本大阪	14:36.30	2
12	4	231	西村 祥治	京都・京都大	15:15.74	2
14	5	1038	山口 敏幸	和歌山・和歌山大	15:16.42	2
13	6	29	古川 博章	滋賀・大阪学院大	15:20.22	2

【F7】順位付け
【F8】風入力

10. 風力が必要な種目には、《風入力》ボタンをクリックし、風力を入力します。入力方法は通常の入力方法と同様です。一度入力すると、複数レース処理している全てのレースに同一の風力が割り当てられます。

11. コメントの入力が必要な場合はコメントを付け、通常の終了処理を行います。

【F5】コメント
【Alt+Enter】入力終了

印刷について

「完了終了で印刷する。」を選択した場合、スプーラーには複数レース処理をしていたレースごとの完了(結果)リスト全て(2レースを同時処理していた場合は2レース両方の結果リスト)が出力されます。

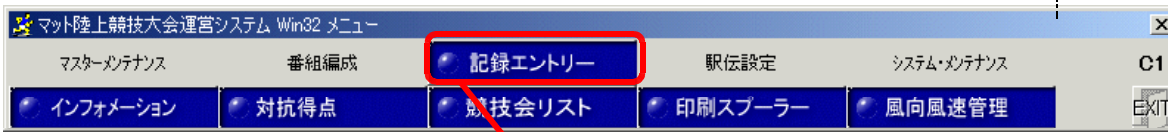
記録入力処理中に、画面中にある《印刷》ボタンをクリックした場合は、現在カーソルがある競技者のレースのみが印刷されます。

【F9】印刷

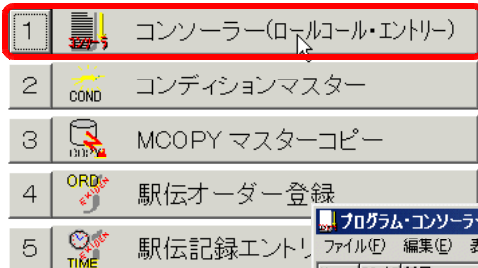


● 複数レース同時記録入力処理(フィールド競技)

コンピュータを起動すると、以下のようなメニューが表示させます。



1. 《記録エントリー》をクリックします。 【F3】記録エントリ



2. 《1. コンソラー(ローカル・エントリー)》をクリックします。 【1】 + 【Enter】

3. 記録を入力するレースを右クリックし、《詳細表示》を選択します。 【Alt + Enter】 詳細表示

No	種目	性別種別	レース組	条件	日付	コル	開始	開始実	終了	使用	測定	アP
71	走幅跳	女子	決勝		2004-04-01	09:50	10:30				フィールド	
111	走幅跳	女子高校	決勝		2004-04-01	09:50	10:30				フィールド	
63	100mH	女子	予選1組	3組2着+2			0:40				電計1/100秒	
64	100mH	女子	予選2組	3組2着+2			0:40				電計1/100秒	
65	100mH	女子	予選3組	3組2着+2			0:40				電計1/100秒	
28	棒高跳	男子	決勝		2004-04-01	09:30	11:00				フィールド	
118	棒高跳	男子高校	決勝		2004-04-01	09:30	11:00				フィールド	

4. 「レース参照画面」が表示されたら、画面中央下の《複数レース呼び出し》を選択します。



5. 「複数レース選択」ウインドウが表示されます。同時処理したいレースを選択し、《決定》ボタンをクリックします。



6. 参照していた画面の下に、「複数レース選択」で選択した種目がつながったレース参照画面が表示されますので、**レース名部分を右クリックして《記録入力》**を選択します。

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント
1	666	立花 真理子	兵庫・須磨東高	/	
2	33	松田 有美子	滋賀・大津高	/	
3	501	布谷 宏子	大阪・初芝高	/	
4	625	城間 さおり	兵庫・園田学園高	/	
5	444	鈴鹿 陽子	大阪・太成高	/	
6	241	木下 みゆり	京都・京都文教女高	/	
7	298	中村 友子	京都・西城陽高	/	
8	651	西中 友季子	兵庫・宝塚高	/	
9	688	黒田 香織	兵庫・姫路高	/	
10	450	神宮 美紗	大阪・大阪成蹊女高	/	
1	1008	金子 夏絵	和歌山・関西外国語大	/	1
2	602	藤原 温美	兵庫・住友電工伊丹	/	2
3	219	水戸部 敦子	京都・立命館大	/	2
4	812	大本 美穂	奈良・天理大	/	2
5	1009	大西 慶子	和歌山・那賀高教	/	2
6	211	南 千晶	京都・天理大	/	2

7. パスワードとレース開始時刻を入力し《OK》をクリックします。記録入力画面に切り替わります。

8. 記録を入力します。入力方法は、通常の記録入力方法と同様です(自動入力にも対応しています)。ただし、高跳系の競技では、レースごとに個別の高さを設定することはできません。複数レース処理を行っているレースは同一の高さの処理となります。複数レース処理中は決勝試技の入力もできません。

高跳系の記録入力画面

男子
棒高跳
高校
棒高跳

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	3m00	3m50	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50
10	1	425	西嶋 健郎	4m80								
8	2	429	豊田 耕一郎	4m70								
9	3	413	船津 哲史	4m60								
5	4	414	谷 広伸	4m40					XO	0	0	
2	5	415	飛岡 孝治	4m30								XXX
6	5	4	小林 雅典	4m30					0	0	XXX	
7	5	33	榎 大将	4m30						0		
1	8	681	竹山 正輝	4m30					0	XO	XXX	
3	8	203	木村 純樹	4m30						XO	XXX	
4	4	710	荒木 潤	1 DNS								
5	1	36	田中 悠一郎	4m40		2						0
3	2	741	谷垣 泰孝	4m30		2			0			
4	3	475	細江 俊輔	4m00		2			XO	XXX		
1	4	735	井村 俊雄	3m00		2			XO	XXX		

高さが同一の場合のみ複数処理可能

6回試技系の入力画面

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	1回目	2回目	3回目
4	1	625	城間 さおり	5m68/+0.7		1	5m64/+1.2	5m68/+0.7
6	2	241	木下 みゆり	5m66/+0.2		1	5m42/+0.8	5m56/+0.4
5	3	444	鈴鹿 陽子	5m58/+1.0		1	5m58/+1.0	X
2	4	33	松田 有美子	5m41/+0.7		1	X	X
7	5	298	中村 友子	5m38/+0.1		1	5m21/+0.5	5m38/+0.1
10	6	450	神宮 美紗	5m35/+1.0		1	5m35/+1.0	4m89/+1.0
1	7	686	立花 真理子	5m34/+0.3		1	5m20/+1.0	X
8	8	651	西中 友季子	5m34/+0.3		1	X	4m86/+0.6
9	9	688	黒田 香織	3m91/+0.0		1	X	3m91/+0.0
3		501	布谷 宏子	DNS		1		
6	1	211	南 千晶	5m92/+1.9		2	5m89/+2.0	5m34/+0.3
7	2	811	狹川 穂子	5m85/+1.2		2	5m89/+1.6	5m85/+1.2
2	3	602	藤原 温美	5m67/+1.8		2	5m32/+0.7	5m15/+0.1
2	4	1009	大西 慶子	5m61/+0.6		2	5m47/+0.2	5m08/+1.5

9. 全ての競技者に記録が割当てれば、次に順位付けを行います。《順位付け》ボタンをクリックし、記録順に並べ替えます。このとき順位は自動的にレースごとに付けられます。(6回試技競技においてベスト8順の並べ替えをする場合も、通常の処理と同様、3回目までの任意の記録入力位置で順位付けボタンをクリックします。)

【F 7】順位付け

10. コメントの入力が必要な場合はコメントを付け、通常の終了処理を行います。

【F 5】コメント
【Alt + Enter】入力終了

印刷について

「完了終了で印刷する。」を選択した場合、スプーラーには複数レース処理をしていたレースごとの完了(結果)リスト全て(2レースを同時処理していた場合は2レース両方の結果)が出力されます。

記録入力処理中に、画面中にある《印刷》ボタンをクリックした場合は、現在カーソルがある競技者のレースのみが印刷されます。

【F 9】印刷

フィールド表示盤の操作について

通常のフィールド表示盤の操作方法で操作できます。

